

設計図

2014年7月

株式 アスカ 総合設計



■建築意匠図

図面番号	1	図面番号	図面内容	図面番号		図面番号	図面内容
A- 00		S- 01		E- 01	電気設備工事特記仕様書1	M-01	
A- 01		S- 02		E- 02	電気設備工事特記仕様書2	M - 02	
A- 02	建築改修工事特記仕様書2	2-03			電気設備工事特記仕様書3	M - 03	
A- 03		S-04			電気設備工事特記仕様書4	M-04	
A-04				E-05	改修前 電灯平面図	M-05	平面図(改修前) 空調設備
A- 05				E-06	照明器具姿図	M- 06	
A- 06					改修後 電灯平面図	M-07	
A-07					改修前 誘導灯。非常照明設備平面図		
A- 08				E-09	改修後 誘導灯。非常照明設備平面図		
A- 09					改修前 コンセント設備平面図		
A- 10				E- 11	改修後 コンセント設備平面図		
A- 11	立面図 1			E- 12	改修前 動力設備・コンセント設備平面図		
A- 12					改修後 動力設備・コンセント設備平面図		
A- 13				E- 14	改修前 弱電設備平面図		
A- 14				E- 15	改修後 弱電設備平面図		
A- 15					改修前 自動火災報知設備平面図		
A- 16				E- 17	改修後 自動火災報知設備平面図		
A- 17					-XISIX 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
A- 18							
A- 19							
A-20							
A- 21	展開図5						
A-22	天井伏図						
A-23							
	AL XVIII						

亀山市林業総合センター復旧	工事設計図	図面リスト		A4 non
14-5 200 1	na n	管理建築士·設計者		(2014) H26 年 07 月
		一級建築士 第 90981 号	谷川精一	H26a022-DWG st
		設計者		۸ ۸۸
三重県松阪市伊勢寺町590-4 一級建築士事務所 三重県矢	日事登録 第1-1287号	一級建築士 第 242755 号 🤌	矢野 孝義	A - 00

多工事特記仕様	書		(2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散 が極めて少ないものとする。	(17) 完成図等	※ 作成する (※ 完成図 ・ 保全に関する資料) [1.8.1~3] [表1.8.1]	3 施工数量調査	調査範囲 ・図示 ・防水改修範囲	
工事名	亀山市林業総合センター復旧工事		(3)接着剤はフタル酸ジーnーブチル及びフタル酸ジー2ーエチルヘキシルを含有しな い難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチル ベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。		※ 完成図作図範囲(配置図、平面図、立面図、断面図、仕上表等)なお、完成図の著作権にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。〇 CADによる作成(※要・不要)	防 水 改	調査方法 図示 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 図示 調査報告書 提出部数: 2 部	
工事概要	三重県亀山市加太板屋 地内		(4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンを放散させない か、放散が極めて少ないものとする。		ただし、作成できない場合は監督員との協議による。 ○ CADによる提出 (※ 要 ・ 不要)	修 エ 事 2 降雨等に対する養	[3	
	2192. 81m2		(5) (1)、(3)及び(4)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他 の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。		ただし、提出できない場合は監督員との協議による。	生方法 (とい共)	※改修標準仕様書3.1.3(e)(1)~(3)による。・	
	亀山市林業総合センター		また、設計図書に定める「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。	(8) 完成写真	 ※ デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。(A4版用紙に1ページあたり3枚) ② アルバム 1部 (大きさ 335mm×290mm程度) ※ 箇所数は 外観4面 各室2面 程度とする。 	3 既存防水の処理	既存保護層の撤去 ・行う(範囲 ・図示 ・) ・行わない [3.2.3] 既存防水層の撤去 ・行う(範囲 ・図示 ・) ・行わない 露出防水層表面の仕上げ塗装除去	
建築面積	木造 平屋建 875.09m2 823.70m2		② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣 認定品	(9) 電子納品	規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。 ※ 工事写真は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル(デジタル工事	4 既存防水層の	・行う (・MAAS ・MAASI ・M4C ・M4DI ・L4X) ・行わない 既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ・図示 [3	
	建築工事		③ 下記表示のあるJAS適合品 a. 接着剤等不使用	(多) 电下积的	※ エザラ具は、「呂袖エ手に味る电下桁中ギーエアル(アクタルエ手 写真編)」等に基づき電子媒体も提出すること。 (提出部数 ※ 2部 ・ 部)	下地補修	POS工法及びPOSI工法(機械式固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の補修及び処置	
聲工事仕様 共通仕様			b. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを		※ 工事完成図書は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル(工事完成図書編)」に基づき電子媒体も提出すること。		※改修標準仕様書3.2.6(d)(3)(vii)①~③による	
図面及び特記仕様書に記	記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 仕棟書(建築工事編)(平成25年版)」(以下「改修標仕」という。)により、また、改修標仕		放散しない材料使用 d. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを		(提出部数 ※ 2部 ・ 部)	5 アスファルト防水	[3. 3. 2~4.	
に記載されていない事項((以下「標仕」という。)	は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成25年版)」 による。		放散しない塗料使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを	② 設備工事との 取合い	施工範囲 ※ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強		屋根保護防水 防水層の種別	
特記仕様			放散しない塗料等使用 f. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用		※ 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び補強 ※ 駆動装置又は電動建具等による建具等の2次側配管配線及び操作スイッチ施工図		工法 種別 施工箇所 断熱材 G 絶縁用シート 立上り部 の保護	
(2)特記事項は、〇印の			第三種 ① JIS及びJASのF☆☆☆品 ② 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣		※ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。		· P 2 A · A − 1	
○ 印と⊗印の付いか	は、※印の付いたものを適用する。 た場合は、ともに適用する。		認定品	②1)設計GL	※ 図示のベンチマーク (B.M) ・既設渡り廊下 FL=-100 (現状地盤は B.M mm)		・A-3 厚さ ・乾式 ・P1B ・B-1 保護材	
(4) 特記事項に記載の	[] 内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 () 内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。	(7)材料の品質等	[1.4.2] 本工事に使用する材料は、設計図書に定める所要の品質及び性能を有するものとし、JIS又	(22) 養生その他	工事施工に際し既存部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕		※ B-2 ・B-3 押え	
	(別2) は、標仕の「別図2 ボルト間隔等及び溶接継手の開先形状」の該当項目を示す。 よる環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)」の特定調達品目を示す。		はJASのマーク表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)~(6)の事項を満たすもの とする。	E RICOIE	上げ共、既存にならい補修すること。		・P2AI ・AI-1 (材質) ※7ラットヤーンクロス ・れんが ※ AI-2 ※JIS A 9511によるA 70g/㎡程度 押え	
			(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること (3) 安定的な供給が可能であること	②③ 事故報告	工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、事故発生報告書 (三重県公共工事共通仕様書第13号様式)を監督員に速やかに提出すること。		・ A I - 3 種押出法がリスチレンフォーム ・ P 1 B I ・ B I - 1 ・ T 1 B I ※ B I - 2 ・ Cまいあより	
)適用基準等	・建築工事標準詳細図 (平成22年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・営繕工事写真撮影要領(平成24年版) 同解説		(4) 法令等で定める許可、認可、認定、免許等を取得していること (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること		また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。		* BI-3 · ·	
	工事写真の撮り方 建築編(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) ・建築物解体工事共通仕様書(平成24年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修		(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明	② 調査協力	受注者は、発注者が行う生コンクリートに関する調査に協力すること。		(厚さ)・25mm ・	
工事実績情報の登録		. 4]	となる資料又は外部機関 ((社)公共建築協会等)が発行する「建築材料・設備機材等品質性 能評価事業」の評価書等の写しを、監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あ		※ 調査内容については、購入先、購入価格、資材の搬入と施工に条件に関すること等。 詳細は監督員と別途協議によるものとする。	5 アスファルト防水	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による	
	(財)日本建設情報総合センター工事実績情報サービ(以下「JACIC」)が運営する 工事実績情報サービス(CORINS)に、「CORINS入カシステム」により当該工事に係る データ登録を行わなければならない。		らかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等 品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。	②5) 市内企業優先使用	本工事に於いて、下請け契約を締結する場合には、当該契約の相手方を亀山市内に事業所 (建設業法において規定する主たる営業所を含む)を有する者の中から選定するよう努めること。		部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による・ 平場の保護コンクリートの厚さ	
	データ登録は、受注時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督員の 確認を受けたうえ、契約締結後10日以内にJACICに対し登録申請を行い、JACICから 「工事カルテ受領書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出し	⑧ 建築材料等	品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。 また、建設工事で得られた再生資源の活用はもちろんのこと、	②⑥ IS014001への 協力	受注者は、亀山市のIS014001に基づく環境保全活動に協力するものとする。 詳細は監督員と別途協議するものとする。		こて仕上げ ※水下 80mm以上 床タイル張り ※水下 60mm以上	
	なければならない。 なお、工事請負代金額が2500万円以上の工事の場合は、受注時に加えて、変更及び		他産業の廃棄物で得られた再生資源についても利用促進を図るものとし、 「みえ・グリーン購入基本指針」に基づく環境配慮を行うこと。	②7 工法の提案	設計図書に定められた工法以外で所要の品質及び性能の確保が可能な工法		・乾式保護材	
	完成時においても同様に「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、登録 内容の変更時にあっては、変更契約締結後10日以内に、完成時にあっては、工事完成		(同指針に基づき、木材を使用する場合において、原料として使用される原木は、県産間伐材、林地残材又は小径木等とするか、又はその伐採に		並びに環境の保全に有効な工法の提案がある場合は、監督職員と協議する。		窯業系パネル:無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形し オートクレーブ養生したもの。	
	後10日以内にJACICに登録申請しなければならない。 なお、変更時と完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できるもの		あたって生産された国における森林に関する法令に照らして合法な木材とすること。)	28 提出書類	監督員より別途指示するものとする。		金属複合板:金属板と樹脂を積層一体化したもの。	
	とする。 ただし、期間には土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する国民の祝日等 は今まない。		※ 本工事に使用する木材は、県産材、を利用するものとする。				建築材料等品質性能表による (試験方法)	
	は含まない。 請負者は、下請負に付する場合は、別に定める三重県建設工事執行規則施工に関し 必要な書類に様式を定める要綱に従い、部分下請通知書(第9号様式)を監督員に提出						(試験方法) 建築材料等品質性能表による	
	しなければならない。 請負者は、工事を施工するためのに締結した下請契約の請負代金額(当該下請契約が	⑨ 施工数量調査	調査範囲及び調査方法 ※図示 [1.5.2] 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※図示・ [1.5.3]				屋根露出防水	
	2 以上ある時は、それらの金額の総額)が4,500万円以上になるとき施工体制台帳を作成 し、工事現場に備えると共に、別に定める様式により、監督員に提出しなければならない。	(10) 化学物質の濃度測定	※ 測定物質(〇で示したものとする。) [1.6.9]				防水層の種別 高日射	
	○ 請負者は、各下請負者の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、工事現場の見 やすい場所と公衆の見やすい場所に掲げなければならない。		道 施設用途 ホルム トルエン キシレン エチル スチレン パラジクロロ				工法 種別 箇所 断熱材 G 所熱材 G 所熱材 使用量 適用 G	
	また、請負者は、施工体系図を別に定める様式により監督員に提出しなければならない。		用 ^{®®®} アルデヒド アルデヒド トルエン キタレン ベンゼン ベンゼン 学校、教育施設				· M 4 C W6-2 図	
)品質計画等	・建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。 [1.2] ※風速 0 V = () m/s (平12建告第1454号第2)	2. 2]	住宅	② ① 足場その他	* 枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン [2.2.1]		・C-3 ・C-4 の指定 の指定 による による	
	※地表面粗度区分 ・I ・II ・II ・IV ・積雪区分 平12建告第1455号 別表 ()		※ 測定箇所(※ 図示 ・	仮 設 T	(厚生労働省 平成21年4月策定)」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」に よるものとし、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、すべての作業 時についる手機、中さく及び中まの機能を表するようのを影響したはればないない。		・M3D ・D-1 ・別気装置 ・P0D ※D-2 ・製造所 ・製造所 ・設ける ・D-3 の指定 の指定 ・設けな	
電気保安技術者	※ 適用する [1.3	31	※ 測定方法(※ バッシン法 ・ アクティン法 ※ 試料は、内装工事完了から2週間以上の通風換気を行い、また、換気を 行いながら空気調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了して	事	床について手摺、中さん及び巾木の機能を有するものを設置しなければならない。 また、定置させる足場及び作業構台の類は、別契約の関係請負者に無償で使用させる。		・D-4 による による 改修用: ・設ける	
発生材の処理等	・引渡しを要するもの() [1.3		から採取することとし、困難な場合は監督員と協議すること。 ※報告書提出部数 2部		内部足場 種別 ※きゃたつ、足場板等 ・ 外部足場 種別 ※A種 ・B種 ・D種		・設けな ・PODI・DI-1 (材質) 脱気装置	
	・特別管理産業廃棄物 (・廃石綿 ・ PCB含有物 ・) ・ 現場において再利用を図るもの()	1) 特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。		防護シート ※設置する ・設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種		- M3 D I XDI-2 XJIS A 9511によるA ・製造所 ・製造所 ・設ける - 設ける - ・設ける - ・ との指定 ・ 設けな	
	・ 再生資材の利用を図るもの・ アスファルトコンクリート塊	② リサイクル認定	※ 本工事では三重県リサイクル製品利用推進条例に基づき性能、品質、	② 既存部分の養生	既存部分の養生 ※ビニルシート等・ [2.3.1]		材の保温板2種1号又 による による 改修用1'1 は2号で透湿係数を除 ・設ける	
	・ セメントコンクリート塊・ 建設発生木材	製品の利用	数量、価格等に考慮し、優先的に認定製品を使用すること。入手困難な 場合は監督員と協議すること。		既存家具等の養生 ※ビニルシート等・ 固定家具等の移動 ※行わない・行う(図示)		く規定に適合するもの・設けな・	
	・ 引渡しを要するもの、再生資源の利用を図るものについては調書作成し、監督員へ提出すること。	①3 施工中の安全	※ 接着剤及び塗料の塗布にあたっては、使用方法及び塗布料を十分に	③ 仮設間仕切り	仮設間仕切り等の種別 [2.3.2] [表2.3.1]		(厚さ)・25mm ・	
	・ 引渡しを要しないもの、再生資源化を図るもの以外のものは、全て構外 に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な 利用の保持に関する法律、資源の有効な	安全管理	管理し、適切な乾燥時間をとるものとする。また、施工時、施工後の 通風、換気を十分に行い、室内に発散した化学物質等を室外へ放出さ		種別 下地 仕上材(厚さmm) 充填材 塗装 ・A種 ※軽量鉄骨 ・合板(※9.0 ・) 厚さmm ※なし		脱気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトルーフィング類製造所の指定による ■投票地球が発達があませる場合の、リースパーン原見及び立ち見渡りの形象	
	利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他 関係法令よるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切処理し、 監督員に報告すること。	(14) 騒音・振動の	せること。 ※ 低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定に基づき指定された		・B種 ・木下地 ※せっこうボード(※9.5 ・) ※C種 単管下地 防炎シート		屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱 材の張りじまい 位置 ※図示 ・	
	監督員に報告すること。 (マニフェスト A、B2、D票を提示し、E票は、写しを提出すること。) ・PCB含有シーリング材の処理	防止	※ 体験音型・体振動型建設機械の指定に関する規定に基づき指定された 建設機械を使用する。		仮設扉 ※木製扉 ※合板張り程度・ ※なし・ ・鋼製扉 ※片面フラッシュ程度・ ・あり		位置 ※図示 ・	
	・FLOE 有シーリング材の処理 ・第一次判定:現場にてサンブルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。 採取箇所数 計() 箇所	(15) 排出ガス対策 建設機械の使用	※ 排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型 建設機械を使用する。	4) 監督職員事務所	 ※設ける		E/Nin/小 工法 種別 施工箇所 備考 ・P1E ・E-1 保護層 ・設ける	
	採取箇所 ※図示・ 第二次判定:専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う。	16 工事写真	※ 工事写真の撮り方/建築、及び同/建築設備に従い撮影する。		○ 講内に新設する (規模及び仕上げの程度は現場説明書による) ・ 既存建物内の一部を使用する		<td c<="" color="1" rowspan="2" td=""></td>	
	分析個数 計 () 箇所 ・除去処理工事		※ 電子納品とし、次のものを提出する。 ※ CD 部数は「19 電子納品」を参照		・設けない		※アルミニウム製 L-30×50×2.0mm程度 屋根排水溝 ※図示	
	除去範囲 ※図示・		※ 全写真のサルネームを印刷したもの(A4版用紙) 1部 ※ 代表的写真を抽出し、L版相当サイズ(A4版用紙に1ページあたり3枚)	⑤ 工事用水	構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる(※有償 ・無償)			
環境への配慮	化学物質を放散させる建築材料等 [1.4 本工事の建物内部に使用する材料等は、設計図書に定める所要の品質及び性能を有するも	i. 1]	で印刷したもの 1部	⑥ 工事用電力	構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる(※有償 ・無償)			
	のとし、次の(1) から(5) を満たすものとする。 (1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティ							
	クルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上塗材及び壁紙は、ホルムアル							



_		工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
F	1/用	亀山市林業総合センター復	日 建築改修工事特記仕様書 1		A 01
1	5	工事設計図	性亲以修工争付配 让 惊音!		A-01

う 改質アスファルト シート店水	[3.4.2] 防水 際の 鎌 別	⑨ シーリング	[3.7./	2, 8]	1 施工数量調査	調査範囲 ・ 外壁改修範囲 ・ 図示の範囲	[1.5.2, 3]	(-2) ① 既存モルタル 3	・行う (※ 全面 ・ 図示の範囲)
で変更があれ	防水層の種別	(9) シーリング	シーリングで検工法 ・シーリング再充填工法 ・拡幅シーリング再充填工法 ・近川ウン工法 ボンドブレーカー張り ・適用する ・適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。 施工箇所 シーリング材の種類(記号) シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書3.7.3(a)(1)~(3)による といの材種 ・配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ルーフドレン 種別 施工箇所 ・ ろく屋根用(・縦型) ・バルコニー用 ・バルコニー中継用 ・バルコニー中継用 ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外・ 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※図示・ 鋼管製といの防露巻き ※改修標準仕様書表3.8.5による・ たてどい受金物の取付け ※図示 ルーフドレンの取付け	(4) 外壁改修工事 (共通事項) 2、3] 2、3]	 施工数量調査 可とう性エポキシ 樹脂 パテ状エポキシ 樹脂 	調査範囲 ・外壁改修範囲 ・図示の範囲 調査内容 タイル張り仕上げの場合 ひび割れ(幅0.2~0.3mm未満、0.3~0.5mm未満、0.5~1.0mm未満、1.0mm以上) の幅及び長さ、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を 調査する。 コンクリート打放し仕上げ、モルタル塗り仕上げの場合 ひび割れ(幅0.1~0.2mm未満、0.2~0.3mm未満、0.3~0.5mm未満、0.5~1.0mm 未満、1.0mm以上)の幅及び長さ、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び 錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分、欠損部の形 状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を調査する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落剖 を調査する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 調査報告書の部数 ・ 2部 (品質・性能) 工事建築材料等品質性能表による (試験方法) 工事建築材料等品質性能表による (試験方法) 工事建築材料等品質性能表による (試験方法)		(1) の 放	- 樹脂注入工法
	押え金物 ※改質アスファルトシート製造所の仕様による	11 アルミニウム製		3. 9. 2]	④ エポキシ樹脂 モルタル	(品質・性能) 工事建築材料等品質性能表による (試験方法)	[4. 2. 2]		・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル・モルタル塗替え工法 既製目地材 ・使用する(形状)
合成高分子系 ルーフィング シート防水	T法 種別 施工 施工 施工 施所 断熱材 G 仕上 高日射反射率 防水の適用 G ・	笠木	種類 ・オーブン形式 (・250形 ・300形 ・350形 ・100形) ・板材折曲げ形 (本体幅: mm 板厚:※2.0mm ・ mm) 表面処理 種別 () 種 皮膜等の種類		⑤ ボリマーセメント モルタル⑥ ポリマーセメント スラリー⑦ 既製調合モルタル	工事建築材料等品質性能表による (性能) 工事建築材料等品質性能表による (品質・性能) 工事建築材料等品質性能表による モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、 細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 (品質・性能) 工事建築材料等品質性能表による (試験方法) 工事建築材料等品質性能表による	[4. 2. 2] [4. 2. 2]	4 浮き部改修工法	T法の種類 (モルタルを撤去しない場合) (東/m) (本/m) (大/m) (無所/m) (無所/m) <td< td=""></td<>
	・SI-MI			41 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁 改修	1 ひび割れ部改修工法	・樹脂注入工法	[4.2.2] [4.3.4~6] 主入量 (m1/m) 130 40 70 130	4-3 1 既存タイル張り 分外壁 でが を する か が を で が を で が を で が を で が を で が り で り し た り し り し し り し り し し り し り し り し り	放去 撤去範囲 ※ 下地モルタルまで ・ 張付けモルタルまで ・ タイルのみ [4.2.2][4.5.5.
· 塗膜防水	T法 種別 施工箇所 仕上塗料 高日射反射率				2 欠損部改修工法	・ 可とう性エポキシ樹脂 ※ 充填工法 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル	[4. 2. 2] [4. 3. 7]	改修	注入工法

			工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
	. III		亀山市林業総合センター復旧	建築改修工事特記仕様書 2		4 00
1	5		工事設計図	连架以修工争符記 位 依者 2		A-02

Į.	[4.2.2][4.5.7、8] ・ タイル部分張替え工法	4-3 ○ 1 所要量の確認	[4.6.2] [表4.6.1] 工程ごとの所要量の確認 ※改修標準仕様書表4.6.1による	5 アルミニウム 製建具	性能等級	製建具	性能等級
	接着剤の種類	外	上位しての用女主の唯成 小以珍様干は移音なもの。ここかも	数 建兵	外部に面する建具 ・A種(建具符号:・建具表による ・)		簡易気密型・適用する
	・ポリマーセメントモルタル	改 2 既存塗膜等の除去	[4. 6. 3]		・B種(建具符号:・建具表による ・)		(建具符号:・建具表による・・)
	・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系	及び下地処理	エ 法 処理範囲 下地面の補修		・C種(建具符号:・建具表による・)		・適用しない
	・JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系	事	* サンダー工法 ※ 図示 4-1~		防音ドアセット, 防音サッシ 適用する 遮音性の等級 () (建具符号:・建具表による)		外部に面する建具の耐風圧性・S-4 (建具符号:・建具表による・・) ・S-5 (建具符号:・建具表による・・)
	・ タイル張替え工法	塗 り	- 4-2による (既存塗膜の除去範囲は処理面積の30%		・適用しない		・S-6 (建具符号:・建具表による・)
	接着剤の種類	仕	とする)		断熱ドアセット, 断熱サッシ G ・ 適用する 断熱性の等級 ()		
	・ポリマーセメントモルタル	一げ	・ 高圧水洗工法 ※ 図示		(建具符号:・建具表による・・)		防音ドアセット、防音サッシ 適用する 遮音性の等級 ()
	・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 ・JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系	壁	加压力		・適用しない 耐震ドアセット ・ 適用する 面内変形追随性の等級 ()		(建具符号:・建具表による・・・) ・適用しない
	・JIS A 555/1〜よる一次反応使化形プレダン樹脂糸		※30MPa程度以上 (既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化		耐震ドアセット 適用する 面内変形追随性の等級 () (建具符号:・建具表による)		・ 適用しない 断熱ドアセット, 断熱サッシ 「G ・ 適用する 断熱性の等級 ()
	伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地		部とする)		・適用しない		(建具符号:・建具表による・・)
	位置 ※改修標準仕様書表4.5.1による	₂₄₇	・ 塗膜はく離剤工法 ※ 図示 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		枠の見込み寸法・建具表による		・適用しない
	タイル張り下地等の均しモルタルの接着力試験 ・行う	俊			表面処理		耐震ドアセット ・ 適用する 面内変形追随性の等級()
	・行わない		・水洗い工法 ※ 図示		外部に面する建具 · B-1種 · B-2種 ·		(建具符号:・建具表による・・)
	・セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイル張りの工法				皮膜等の種類(※改修標準仕様書表5.2.2による・・) 着色(・アンパー・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー)		・適用しない 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1、・
	外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り	3) 下地調整塗材	[4. 6. 4]				鋼板 (屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS430J1、SUS430
	外装ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り		※ 下地調整塗材		皮膜等の種類(※改修標準仕様書表5.2.2による・・)		表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ ・
			・ ポリマーセメントモルタル		着色 (・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー)		ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ
	・有機系接着剤による陶磁器質タイル張り		- 防水形仕上げ塗材主材		結露水の処理方法・図示・	(A) 12 E E A 44	Tr. 3
	シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 ・	(4) 仕上げ塗材仕上げ	[4, 6, 5]		水切り板、ぜん板 ・図示 ・	10 建具用金物	[5.7. 金物の種類・見え掛り部の材質等 ※改修標準仕様書表5.7.1による・
	中縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系・	(4) 江工门至何江工门	建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量		網戸等 [5. 2. 3]		樹脂製建具に使用する丁番 ※改修標準仕様書表5.7.3による
			※規制対象外				握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 ・建具表による ・
			新規仕上塗材の種類		- 防虫網 ※合成樹脂製 ※0. 25mm以上 ※16~18メッシュ		
浮き部改修工法	[4. 2. 2] [4. 5. 9~15]		孫 紅 阿拉克 防火 从上点の形势及过于计算		・ガラス繊維入り合成樹脂製・		・錠前類 【シリンダ箱錠及びシリンダ本締り錠】
	7ンカーピンの本数 注入口の箇所数 充填量 注入量		種類 呼び名 材料 仕上げの形状及び工法等		・ステンレス (SUS316) 製		(品質) 工事建築材料等品質性能表による
	工法の種類 (本/㎡) (箇所/㎡) (ml/箇所) (ml/箇所)		・ 外装薄塗材S i ・ 砂壁状		- 防鳥網 ステンレス (SUS304) 線材 1. 5mm 網目寸法15mm		上 季 建 栄 付 科 寺
	(タイルを撤去しない場合) 一般部 指定部 一般部 指定部 ・アンカーピンニング部分 ※ 16 ※ 25 ※ 25		塗材 ・ 可とう形外装薄塗材 ・ ゆず肌状 (・吹付け・ローラー塗り)				工事建築材料等品質性能表による
	- アンカーに フーン ク部ガ		Si ・ さざ波状 ・ 外装薄塗材E ・ 平たん状				(試験方法)
	・アンカーピンニング全面 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ― ※ 25		・ 可とう形外装薄塗材E ・ 凹凸状 (・吹付け・こて塗り)	6 樹脂製建具	[5.3.2~5]		工事建築材料等品質性能表による
	エポキシ樹脂注入工法		・ 防水形外装薄塗材E ・ 着色骨材砂壁状 (・吹付け・こて塗り)		性能等級 外部に面する建具 ・A種(建具符号:・建具表による ・)		・錠前類 【レバーハンドル】(性能)
	・アンカーピンニング全面 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 50		 外装薄塗材S ・ 砂壁状じゅらく 		外部に回りの建具 ・A程(建具付号:・建具衣による ・) ・B種(建具符号:・建具表による ・)		(注能) 工事建築材料等品質性能表による
	ポリマーセメントスラリー注入工法 *** 9 *** 16 *** 16 *** 25 ***		- 京壁状じゅらく		・ C種 (建具符号: ・ 建具表による ・)		(試験方法)
	エポキシ樹脂注入工法 ※ 10		・厚付け仕上 ・ 外装厚塗材 C ・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ※ 放 ・ 外装厚塗材 S i ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし		防音ドアセット, 防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級 (・T-1 ・T-2)		工事建築材料等品質性能表による
	・注入口付アンカーピンニング全面 ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 25		塗材 ・ 外装厚塗材S i ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし ・ 外装厚塗材E ・ 上塗材 ・ 適用する ・ 適用しない		(建具符号:・建具表による・・・)		・クローザ類(品質・性能)
	エポキシ樹脂注入工法		・ 夜層仕上塗材 ・ 夜層塗材 C E ・ ・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸模様		・適用しない 断熱ドアセット, 断熱サッシ G ・ 適用する 断熱性の等級		(品質・性能) 工事建築材料等品質性能表による
	・注入ロ付アンカーピンニング全面 ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ── ※ 50 ※ 17 ※ 50 ※ 18 ○─ ※ 50 ※ 18 ○─ ※ 50 ※ 18 ○─ ※ 50 ※ 18 ○─ ※ 50 ※ 18 ○─ ※ 50 ○─ ※ 50 ○─ ○─ ※ 50 ○─ ○─ ○─ ○─ ○─ ○─ ○─ ○		・ 程度性工学材 ・ 接着学材 と ・ ・ は かり がれ ・ 自 中 を は と と と と と と と と と と と と と と と と と と		(·H-4 ·H-5 ·)		(試験方法)
	・注入口付アンカーピンニング ── ※ 25 ──		・複層塗材Si ・耐候性 ※ 耐候形3種		(建具符号:・建具表による・・・)		工事建築材料等品質性能表による
	エポキシ樹脂注入タイル固定工法		・ 複層塗材 E ・ 溶媒 ※ 水系 ・ 溶剤系		・適用しない		
	・タイル部分張替え工法		・ 複層塗材RE ・ 樹脂 ※ アクリル系		4-09-11 250-17	(C) 474	
	・タイル張替え工法		・ 防水形複層塗材 C E ・ 外観 ※ つやあり ・ つやなし		枠の見込み寸法 ・建具表による ・ 表面色 ※標準色 ・特注色	① 鍵	[5] マスターキー ・製作する ・製作しない ・既存のマスターキーに合わせる
	アンカーピン		・ 防水形複層塗材 E ・ ・ メタリック ・ 防水形複層塗材 RE ・		水切り板、ぜん板 ※図示 ・		その他の鍵 ※各室3本1組・・ 以行のマスターヤーに占わせる
	※ステンレス鋼(SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの		・ 防水形複層塗材 R S ・ 増塗材		ガラス ※複層ガラス		鍵箱 ※無 · 有
			・適用する ・適用しない				
	注入ロ付アンカーピン		・可とう系改修 ・ 可とう系改修塗材E ・ ・ 平たん状	7 鋼製建具	[5. 2. 2] [5. 4. 2~4] [表 5. 4. 2]	12 自動ドア開閉装置	[5.
	※ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径外径6mm		用仕上塗材 ・ 可とう系改修塗材RE ・ ・ さざ波状		性能等級 簡易気密型 ・適用する		自動ドア 性能 防錆 センサーの種類 凍結防止
	・ タイル部分張替え工法		・ 可とう系改修塗材CE ・ ・ ゆず肌状		(建具符号:・建具表による・)		・SSLD-1 ※改修標準仕 ・マットスイッチ ・SSLD-2 様書表5.8.1 ・光線(反射)スイッチ
	接着剤の種類				· 適用しない		· DSLD-1 による · 適用する · 熱線スイッチ · 行う
	・ポリマーセメントモルタル	5 マスチック塗材塗り	[4. 6. 6]		外部に面する建具の耐風圧性 ·S-4 (建具符号:・建具表による ·)		・DSLD-2 ・適用しない ・音波スイッチ (適用箇所は
	- JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系		「種別 ・A種 ・B種		· S-5 (建具符号: ・建具表による ·)		・SWD-1 ※改修標準仕 ・光電スイッチ 建具表によ
	・JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系				·S-6 (建具符号:・建具表による ·)		・SWD-2 様書表5.8.2 ・電波スイッチ ・行わない
	タイル張替え工法	1 改修工法	[5. 1. 3]		防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級 ()		による ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ
	接着剤の種類	(5)	建具の種類 かぶせ工法 撤去工法 適用箇所		(建具符号:・建具表による・・・)		・図示 ・ ペダルスイッチ
	・ポリマーセメントモルタル	建	・ アルミニウム ・ 建具表による ・		・適用しない		・多機能トイレスイッチ
	- JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 - JIS A 5557による - 液圧は硬化形変成シリコーン樹脂系	具	製建具		断熱ドアセット, 断熱サッシ		(RE- b4-6+)
	・JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系	改 修	・ 樹脂製建具一・ 建具表による		(建具符号:・建具表による ・) ・適用しない		(品質・性能) 工事建築材料等品質性能表による
	伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地	工 事	・銅製・外部・建具表による・		耐震ドアセット ・ 適用する 面内変形追随性の等級 ()		工事建案が付寄印具は能数による (試験方法)
	位置 ※改修標準仕様書表4.5.1による・		・ 内部 ・ 建具表による・		(建具符号:・建具表による・・)		工事建築材料等品質性能表による
			・銅製軽量建具・・建具表による・・		・適用しない		
	タイル張り下地等の均しモルタルの接着力試験 ・行う ・行わない		・ ステンレス・ 建具表による		鋼板	13 自閉式上吊り	M.M. W. Shiftee 11 14 to 1 1 1 7
	・セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り		製建具		材料 めっき付着量 厚さ ・JIS G 3302 ※Z12又はF12 ・標準仕様書表	引戸装置	性能 ※ 改修標準仕様書表 5.9.1 による (試験)
	タイル張りの工法		新規に建具を設ける場合		(溶融亜鉛めっき鋼板) 5.4.2による		工事建築材料等品質性能表による
	外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り		壁部分の開口の開け方 ※図示・		- JIS G 3317 (溶融亜鉛-5% ※YO8		
	外装ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り		新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示・		アルミニウム合金めっき鋼板)	14 重量シャッター	[5. 10
	・有機系接着剤による陶磁器質タイル張り	2 防火戸	[5.1.4]				シャッターの種類 耐風圧強度
	・ 有機糸接着剤による陶磁器質タイル張り シーリング材の種類	2 初天尸	[5.1.4] ・適用する 適用箇所 (・建具表による ・)	8 鋼製軽量建具	[5. 2. 2] [5. 5. 2~4]		・ 一般重量シャッター 耐風圧強度 () N/m ² → N R R R R R R R R R R R R R R R R R R
	フーップラットのの _{種類} 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 ・		・適用しない	- 419ATLEAT	性能等級		・ 外壁用防火シャッター 耐風圧強度 () N/m ² ・ 屋内用防火シャッター - 屋内用防火シャッター
	伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系・				簡易気密型 ・適用する		・ 屋内用防煙シャッター・ 屋内用防煙シャッター
= w= : :		3 見本の製作等	[5. 1. 5]		(建具符号:・建具表による・・)		
目地改修工法	[4.5.16]		建具見本の製作 ・行う(建具符号:)		・適用しない 降音サッシュ ・適用する 演音性の笑欲 ()		開閉機能による種類 ※ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式 一般重量シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない
	・ 目地ひび割れ部改修工法・ 伸縮調整目地改修工法		・行わない 建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する		防音ドアセット、防音サッシ 適用する 遮音性の等級 () (建具符号:・建具表による・・)		一般重量シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない
	伸縮調整目地の位置及び寸法・図示		・納まり等がわかる程度のもの		・適用しない		鋼板の種類 ・ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)
			特殊な建具の仮組 ・行う (建具符号:)		断熱ドアセット, 断熱サッシ G ・ 適用する 断熱性の等級 ()		・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板)
タイルの形状、	[4. 2. 2]		・行わない		(建具符号:・建具表による・・・・)		めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・
寸法等	吸水率に うわ 役物 色 再生 耐凍	A D+ YO 7± /L +o C			・適用しない	15 to 50	
	王な用途に 形状 よる区分 くずり ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 防犯建物部品	[5.1.7] ・適用する () 適用箇所 (・建具表による ・)		耐震ドアセット 適用する 面内変形追随性の等級() (建具符号:・建具表による・・・)	15 軽量シャッター	[5.11 開閉形式 ※手動式 ・上部電動式 (手動併用)
			・適用しない		(庭典付方:・建典衣による・・・・)・適用しない		耐闭形式 次于到式 · 工品电别式 (于到所用) 耐風圧強度 () N/㎡
	施工箇所 (mm) 満満満満り、リリカ有無 様 所 G 有無				鋼板 ※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板		スラットの材質
					鋼板の厚さ ・改修標準仕様書表5.5.1による		・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板)
					召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板		めっき付着量(※Z06又はF06 ・)
							- JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板) めっき付着量 (※AZ90 ·)
							スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形
	標準的な曲がりの役物は一体成形とする						
	試験張り ・行う ・行わない						
			·	I I		1	1
	見本焼き・行う・行わない						

	/±		工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
)# *		亀山市林業総合センター復旧	建筑改修工事特記什样書?		4 00
ניו	5		工事設計図	建築改修工事特記仕様書3		A-03

16 オーバーヘッド	[5. 12. 2、3]	1) 改修範囲	[6.1.3]	(7) 造作用単板積層材 [G]	[6. 5. 2]	(12) 軽量鉄骨壁下地	[6.7.3] [表6.7.	
ドア	セクション材料 による区分 耐風圧 区分(Pa) 開閉方式 による区分 収納形式 による区分 ガイドレール の材質 ※スチールタイプ ・125 ※バランス式 ・フルミニウムタイプ ・チェーン式 ・ フェーン式 ・ フーヘッド形 ※溶融亜鉛 めっき鋼板	(6) 内装改修工	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修		ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外・ 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 施工箇所 厚さ 表面の化粧加工 防虫処理 材等 の適用	<u> </u>	スタッド、ランナーの種類 ※改修標準仕様書6.7.3によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示・	
ปี	・ファイバーグラス タイプ ・75 ・50 ・電動式 ・バーチカル形 ・ステンレス 鋼板 [3.7] [5.13.2~4] [表5.13.1] ・合わせガラス 構成種類 ・フロート合わせ 性能 ・フロートをわせガラス	事 ② 既存床の撤去及び 下地補修	 ※ 既存のまま ・ 図示 [6.2.2] ビニル床シート等の除去 ※ 仕上げ材のみ (接着剤とも) ・ 下地モルタルとも (・ 図示の範囲 ・除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。 		・海月 (加工 ・天然木加工・塗装加工) ・適用する ・適用 しない 無し (等級:) ・適用 しない 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 しない 施工箇所 厚さ (mm) 表面の化粧加工 防虫処理 含水率 が等の適用 ・有り ・適用する ※14%以下 ・	③ ビニル床シート G	種類	
		③ 既存壁の撤去及び 下地補修	改修後の床の清掃範囲 ※ 改修箇所の室内 [6.3.2] 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕棟書4.4.9によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の補修 ・行う ・行わない)	8 床張り用合板等 G	(加工・天然木加工・塗装加工)・ ・適用しない ・無し() ・第三種 [6.5.2] ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外・第三種 [6.5.2]		工法 ※ 熱溶接工法 ・ 突付け (施工箇所:) 特殊機能 帯電防止 ・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10 ⁷ 7~1×10 ¹⁰ Ω程度 ・	
	・フロートガラス ・フロート強化ガラス ・	④ 木下地等の表面 仕上げ	・図示 [6.5.1] 表面仕上げの種別 適用箇所		施工 箇所 厚さ (mm) 表板 の 樹種名 接着 の 程度 板面の品質 程度 防虫処理 財土 難燃処理 い防炎処理 の適用 防炎処理 対等 の適用 ※5.5 ※1類 ・2類 ・2類 ・1等 ・適用 ・適用 ・適用 ・適用 ・適用 ・適用 ・適用 ・適用 ・適用 ・適用	14 ビニル床タイル G	Sing 15 15 15 15 15 15 15 1	
	品種 性能 色調 ・熟線吸収フロート板ガラス ・1種 ・2種 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・熟線吸収網入磨き板ガラス ・複層ガラス	(5) 製材 (3)	- C種 - D種 - D種 - 「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材		計葉樹 しない しない しない しない しない ・ 横造用合板 ⑤		・ 柄物 ・ 450×450 ・ 防滑性 ・ 3.0 ・ FOA ・ 無地 ・ 500×500 ・ 帯電防止 ・ 防滑性 ・ 置敷きピニル床タイル) ・ 柄物 ・ 防滑性	
	・検信カラス 断熱性 日射熱遮へい性 ・断熱複層ガラス ・1種 U1 ・2種 U2 ・3種 ・U-3-1 ・U-3-2 ・日射熱遮へい複層ガラス ・4種 E4 ・5種 E5		施工箇所 樹種		た		特殊機能 帯電防止 ・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10 [^] 7~1×10 [^] 10Ω程度 ・	
	・熱線反射ガラス 日射 遮へい性 耐久性 ・熱線反射ガラス ・1種 A種 色調 (・ブルー ・グレー) ・2種 ・A種 ・B種		・「製材の日本農林規格」による道作用新集倒製材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 等級 形状 含水率 間伐材等 の適用 ※A種・B種 ・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材		<td black="" black<="" color="" rowspan="2" td=""><td>(5) ビニル幅木16 ゴム床タイル</td><td>[6 材質 ・軟質 ・硬質 高さ(mm) ※60 ・75 ・100 厚さ(mm) ※1.5以上 ・</td></td>	<td>(5) ビニル幅木16 ゴム床タイル</td> <td>[6 材質 ・軟質 ・硬質 高さ(mm) ※60 ・75 ・100 厚さ(mm) ※1.5以上 ・</td>	(5) ビニル幅木16 ゴム床タイル	[6 材質 ・軟質 ・硬質 高さ(mm) ※60 ・75 ・100 厚さ(mm) ※1.5以上 ・
	・高性能熱線反射ガラス ・3種 B種 色調 (・ブロンズ ・シルパー) 反射被膜面 ・内面 ・外面 映像調整 ・行わない ・行う		施工箇所 樹種 寸法 (mm) 等級 形状 含水率 間伐材等 の適用 ※1等 ※A種・B種 ※A種・B種 ※1等 ※A種・B種 ※1等		※15 ※13タイプ ※P又はM ・構造用パネル 厚さ (mm) 等級 ・1級 ・2級 ・3級 ・4級		① カーベット敷き G	色柄 () pさ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0 寸法(mm) () [6.9.3~4] [表6
	・倍強度ガラス 佐舗 ・フロート倍強度ガラス ・ブルー・グレー・ブロンズ がラスの留め材及び溝の大きさ							

	进	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
	本	亀山市林業総合セン	ッター復旧 建築改修工事特記仕様書 4		1.04
ן ניו	5	工事設計図	连条以修工事符記证 恢 者 4		A-04

(5) 15 金元世和学生	(2) せつこうボード その他のボード 及び合画像49 ・様子本セイント版 ②	(6.16.2~4) 特征調節日後の位置 ドライル (別版、像とも相談内ごと・図示・・) (1.16.2~4) 特征 (別版、像とも相談内ごと・図示・・) (1.16.2~4) 特征 (図版・・) (図版・) (಄版・) (図版・) (಄版・) (಄版	② 中央
・生地のままワックス塗り ・行わない ② 畳敷き 種別 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (畳床:・KT-I・KT-II・KT-II・KT-II・KT-N) 下地の種類 ・	合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外	下地面の種類 下地調整の種別 ひび割れ部の補修 本部 ※RB種 ・RA種・RB種 鉄鋼面 ※RB種 RA種 亜鉛めっき面 ※RB種 RC種 モルタル、プラスター面 ※RB種 ・RA種・RB種 ・行う コンクリート面(DP以外)、 A L C パネル面 ※RB種 RA種 ・行う コンクリート面(DP) RA種 ・行う 押出成形セメント板面 ・RA種・RB種 ・行う せっこうボード面及び その他ボード面 ※RB種 ・RA種・RB種 - その他ボード面 ※RB種 ・TA種・RB種 - 13 舗止め塗料塗りの種別 塗装面 ※A 工程	撤去範囲

	/ 进		工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
	ля — — — — — — — — — — — — — — — — — — —		亀山市林業総合センター復旧	ᅽᅉ과ᄵᅮᆍᅘᄔᆖᄀᄼᅶᅷᆂᇋ		4 05
ויר	5		工事設計図	建築改修工事特記仕様書 5		A-05

小人立		 表(記載事項	 を採用する)																				
	11, 17 —	衣 (□ 1/N/川 <i>ブ 'd</i> /			<u> </u>				部化	<u> </u>	符号						仕 上					
<u> </u>			バリウム鋼板も0.4 瓦棒葺 アス	ファルトルーフィング			5 勾配3.8/10			0. 1		WD.	-1 ラスモルタル	下地 ジョリパッ	ト100吹付	H=550~	1750 胴縁下			GW t 100			
		YZ-1 軒樋	:120×75 防塵皿 竪樋 VP1	00 VP塗装								7修前 ₩□-	-2 米松 t 15(合	ジャクリ加工)	目地6 W	=200 +3	,ラデコール3 _©	回塗 H=1	1750以上	柾目			
	改修	前 YZ-2 鼻隠	し、破風:杉 20×200×150 =	キシラデコール3回塗								W -	-11 ラスモルタル	下地 ジョリパッ	ト100吹付	H=550~	1750 胴縁下	地+透湿阝	防水シート+	GW t 100			
		YZ-3 竪樋	76×46								CX	【修後 W□-	-21 米松 t 15(合	ジャクリ加工)	目地6 W	=200 +3	,ラデコール3©		1750以上	柾目			
日 #日 / 4 \		YZ-4 谷樋	カラーガルバリウム鋼板 t0.4							+1 = 0.4	改	▼修前 C□-	-1 ロックウ~	-ル吸音版 t 15	外部用(一部	部リブなし)	t9 GB-	R t 9.5	野縁下地				
屋根(4)		Y-11 ガル	バリウム鋼板も0.4 瓦棒葺 アス	ファルトルーフィング	22kg OSB	ボード t 27.	5 勾配3.8/10			→ 軒天 屋棚	改(4)	7修後 □□-	-11 ロックウ~	-ル吸音版 t 15	外部用(一部	部リブなし)	t 9 GB-	R t 9.5、	野縁下地(新	斤設)			
		YZ-11 軒樋	:75×120 防塵皿								25	W□-	-3 外壁軒天耳	取合水切									
	改修	後 YZ-21 鼻隠	し、破風:杉 20×200×150 =	キシラデコール3回塗							L UX	【修前 W□-	-4 妻換気がう!	リ 米マツ 400×80	0								
		YZ-31 竪樋	VU100φ 1個所、 76×46	6個所(排水菅カバ	~共)					その	他		- 31 外壁軒天耳	取合水切									
		YZ-41 谷樋	ガルバリウム鋼板 t0.4 裏面′	ペフ貼							Γ Gχ	マ修後 ₩゚□-	- 41 換気がうり	#איז 400×800									
屋根(4)軒先部	改修	前 Y-2 ガル	バリウム鋼板 t 0,4 一文字葺き フ	アスファルトルーフィン	ング22kg、OS	Bボード27	7.5下地 勾配3.8	3/10															
座低(4)軒九部	改修	後 Y-21 ガル	バリウム鋼板 t 0,4 一文字葺き フ	アスファルトルーフィン	ング22kg、OS	Bボード27	7.5下地 勾配3.8	3/10		断熱材			外壁・天井	GW t=100 (2	4kg/m3)							
													床	GW t=50(2	4kg/m3))							
符与	 号凡例										 仕上材戶	 L例											
m モルタル			AW アルミ製建具		k 木製床組				BOX(桧集成材 150×100 WP)				仕上材(ボード)凡例							-材(塗装)凡例		
C コンクリー GL ガルバリウ			₩W 木製建具₩D 木製ドア		g9 構造用合板 g12 構造用合板			DB 暗幕ボックス PR ピクチャーレ			ロックウール 石膏ボード	ル化粧吸音板					SOP	合成樹	脂調合ペイン 涂装				
GW グラスウー	- ノレ		LHD 軽量鋼製ハンガードア	' (g15 構造用合板	īt15		TB トイレブース	C. C	GB-S	シージング石						EP	合成樹	脂エマルショ				
DP ドレインパ WC トイレ(便		′P塩ビ製)	SLW スライディングウォー SS スチール製シャッター		:g12 耐水合板t .GS 軽量鋼製下		合板1類)	木製胴縁 45×18@4 CR カーテンレー			化粧石膏ボー ケイ酸カルシ		禁用)						合成樹脂エマ 護塗料(自然		イント(グロス) :	下部仕上用	
	.1/1 /		25 A) N&Jry3-		- G S 軽重過級 1 F18 硬質木片も		8		/* \ / / / / / 本 /		化粧ケイ酸力								護堂科(自然 ラッカー塗	<u>.±111</u>			
	-n !! :															-n							
四音	が仕上	仕様表 	DD 11 TO 14 11 11 11							1+4 - 7 - 7 - 1						認定番号		ibis I.	M 000			T == 00	7± 11± 4 4 0 0
L-1 GB-R	t12.5	木製胴縁 下地	間仕切壁。天井下地仕様 │ CL-1 │ G	B-R t9.5 + 木下!	 地			張鴨居 杉 七40		材凡例 					<u>FRW保温板</u> E珪酸カルシ'	ウム板 t6.0			M-8601 M-8579	コンクリー 陶磁器質 2		不燃 不燃	建告1400号 建告1400号
				B-R t12.5 + 木下			WZ-1 壁馬	刨切 杉 30×25 CL						石	ボード (ቲら	9以上)	準	不燃 建	告1401号	鉄鋼		不燃	建告1400号
								‡廻縁 杉 50×25 Cl ‡廻縁 杉 30×36 CL						卡亚 分	‡混入ケイ酸)	刀ルンリム板(t5以上) 不	燃 運	告1400号	石霄ホー	ド(t12以上)		建告1400号
							CZ-3	隊 杉柾 30×33@45()														
内台	部仕上	表																					
			- 11 1			,		DT 04 11 1	+											T	1		
階室名	2	符号	床仕上 下 地	記号	中木仕上	高さ	記号	腰壁仕上	高さ「記号」 雪	登仕上	下地	記号	天井仕上	下地	- 廻縁	天井高	柱型	2型	見切材	カーテンボックス	-	備考	
			ナラフローリング合板 t 15	B-1 杉 CL		100	K-1 杉板日	11155貼 () 8	300 W-1 ジョリパット		-1	C-1 ×	ブョリパット吹付	CI -2	C7-1	3,800			WZ-1		スライト゛ステーシ゛・可動式間	1仕切	
1階		改修前 F-1	tg12			100	1717		一部仕上 ⁻	下地撤去		C-2]			- 52 1	6,900			2 1		スラィドステージ床 長尺均		
大研修	②至	改修後							W-11 ジョリパット(≧				バョリパット吹付	CL-2									
		以吃饭							一部仕上	下地新設			5Wt100										
		 改修前 F-1	ナラフローリング・合板 七15	B-1 ★ CL			K-1 杉板目	1t15タテ貼 CL 8		T 1.0 141 1	L-1	C-3 t		CL-1	塩ビ	2,615			WZ-1		スライディングウ:	ーール ビニルクロ	1ス
中会議	養室		tg12	D 1 +4 Cl	/:\phi t \		1/ 1 +/+==	1 ± 1 ⊑ a = B + C C	一部仕上		1 1		5W t100	CL 1	1510				\ /7 1			u 18= u a=	¬
		改修後		B-1 杉 CL□	【笙笛】		(塗替)		300 W-11 ジョリバット(注 一部仕上		L-1	C-31 t	<u> </u>	CL-1 下协(新設)	塩じ	\triangle			WZ-1 (塗替)		スライディングウォ		人貼省
			プイルカーペット貼せ6.5	B-1 ★ CL		100			300 W-2 r°=11/201	I PEANIEX	-1	C-3 t		CL-1	<u>塩ビ</u>	2,500			WZ-1				
/7± r=+ 164 \	生宁	改修前 F-2	tg12						GW t10)			5Wt100										
健康増設		改修後 F-21	タ/ルカーパットBĿ+ム 5	B-11 村 CL		100			W-21 r=1/101 (C-31 t	ニルクロス	CL-1	塩ビ	\wedge							
			tal2										5Wt100										
		改修前 F-3	畳t55	B-2 畳寄せ	55×30				W-1 У"aU/1° vh		L-1		杉板化粧石膏ボート		CZ-2	2,380			FZ-1		囲炉裏·押入·欄間()	展開図参照)	
和室15	5畳		vgir idwoo	B-21 畳寄せ	£ 55∨20				W-11 Ў°aUパット<2	全 替)	_1		CZ-3、GW t10 杉板化粧石膏ボート		CZ-2				FZ-1				
		□ 改修後 F-31	畳t55 tg12+GW50	D-CI 宣命で	14 リンへびU				VV 11 7 37/1 7/12	/	- 1		15阪16社石賞# -1 10Z-3、GW t10		167-5				F Z-I (新設)				
			+7.%!#6	B-2 畳寄せ	桧 55×30				W-1 Ў°₃IJハ°ット		L-1		第天井 杉柾目 板								 床柱:杉シンボリ丸太 <i>Φ</i>	120 稲妻釘(3箇)	所〉・オリベ板
床の		改修前 F-4	tg12+GW50										5W100								床カマチඃ北山杉タイコ落		
M (V)		25 Mを 15 - 1/1		B-21 畳寄せ	桧 55×30				W-11 Ў°3UN°9K(<u>3</u>	金替)	L-1		鏡天井 杉柾目 板	ō貼 CL−1							床柱:杉シンボリ丸太 ¢	120 新設	
		以形俊一十二	ウスベリ敷 tg12+GW50						1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				GW100										
		改修前 F-5	地极:松集成材						W-1 У~3UN° vh		L-1	C-6 1											
書別	完		tg12+ポリエチレン断熱材t30 地板:松集成材						W-11 Ў°₃УЛ° ७Ь(<u>?</u>	金替)	-1	C-61 1	鏡天井 杉日貼										
		改修後 F-51	地域:松来成初 tg12+ポリエチレン断熱材t30						11 3 377 773	/	- 1		^{沙田}		_								
		35 kg ->- C	7ッションフロア t3.5	B-1 杉 CL		100	K-1 杉板目] t159テ貼 CL 8	300 W-2 r=10701		L-1	C-3 t		CL-1	塩ビ	2,700			WZ-1		厨房機器(4箇所)、	手洗い	
特産加	一方	改修前 F-6	m t30 金コテ						GWt100			(5Wt100								ロールスクリーン		
村生川	工至	改修後 F-61	クッションフロア t3.5(貼替)	B-11 村 CL	(塗替)	100			W-21 r=1,100x (貼替)	L-1	C-31 t		CL-1	塩ビ	Δ			WZ-1		カーテンボックス CL塗替		
		-A 19 19 11 UI	m t30 金コテ(既設利用)									(5Wt100 木	下地(新設)					(塗替)		家具、備品脱着	A \(\)	
<u> </u>	キョコャ~ ~	ДВ № ЯПЕЛЬСТВО	ì z										亀山市林業	禁総合センタ	一復旧	-	工事設計図	7 仕.	上表1			A2 A4	<u>nor</u> nor
		限り既設利用と										}	++ - L		, <u> </u>				建築士·設計			(201	4) H26 年 07 月
悔	ノいくは	(、構造図を参照	୦୨ବ.										休式 一	スカ絲	念合認	设計	Ш	設計		建築士 第	90981 号 谷川		a028-DWG st
													三重県松阪市伊勢							建築士 第	242755 号 矢野	孝義 /	A – 06
																		1	.,,,,,	21-		1	

符号凡例 仕上材凡例 WBB 木製ブラインドB□X(桧集成材 150×100 WP) 仕上材(塗装)凡例 m モルタル AW アルミ製建具 仕上材(ボード)凡例 k 木製床組 C コンクリート ₩ 木製建具 g9 構造用合板t9 DB 暗幕ボックス(木製) DR ロックウール化粧吸音板 S□P 合成樹脂調合ペイント DP 耐候性塗装 GL ガルバリウム鋼板 WD 木製ドア PR ピクチャーレール(アルミ製) GB-R 石膏ボード g12 構造用合板t12 EP 合成樹脂エマルションペイント GW グラスウール LHD 軽量鋼製ハンガードア g15 構造用合板 t15 TB トイレブース GB-S シージング石膏ボード DP ドレインパイプ(VP塩ビ製) SLW スライディングウォール(移動間仕切壁)七g12 耐水合板七12(構造用合板1類) 木製胴縁 45×18@450(杉一等) GB-D 化粧石膏ボード EP-G つや有合成樹脂エマルションペイント(グロス) 外部仕上用 WC トイレ(便所) FK ケイ酸カルシウム板(内装用) SS スチール製シャッター LGS 軽量鋼製下地 CR カーテンレール(アルミ製) WP 木材保護塗料(自然塗料) HF18 硬質木片セメント板t18 FK-D 化粧ケイ酸カルシウム板 CL クリアラッカー塗 内部仕上仕様表 認定番号リスト

	間仕切壁。天井下地仕様		見切材凡例	5]	化粧RW保温板	不燃	NM-8601	コンクリート	不燃	建告1400号
L-1 GB-R t12.5 木製胴縁 下地	│ CL-1 │ GB-R t9.0 + 木下地	WZ-1	壁見切 杉 30×25 CL		化粧珪酸カルシウム板 せ6.0	不燃	NM-8579	陶磁器質タイル	不燃	建告1400号
	│CL-2 │GB-R t12.5 + 木下地	CZ-1	天井廻縁 杉 50×25 CL		石膏ボード(t9以上)	準不燃	建告1401号	鉄鋼	不燃	建告1400号
		CZ-2	天井廻縁 杉 30×36 CL		繊維混入ケイ酸カルシウム板(七5以上)	不燃	建告1400号	石膏ボード(t12以上)	不燃	建告1400号
		CZ-3	竿縁 杉柾 30×33@450							
		•	·		•				_	•

内部什上表

室名		77.	床仕上	記号	巾木仕上	高さ	記号	腰壁仕上	高さ	記号	壁仕上	下地	記号	天井仕上	下地	7등 6크		+→ #II	575 #H	F L∏++	カーテン	/# *	
至石		符号	下 地													廻縁	天井高	柱型	梁型	見切材	ボックス	備考	
	改修前	F_4	クッションフロア t3.5	B-3 雑巾指	77. E					M-3	耐水ベニヤt5.5		C-7	耐水ベニヤt4.0	木下地	塩ビ	2,700						
物入(1)	以形形		m t30 金式(既設利用)																				
101/\ \ 1 /	 改修後												C-71	耐水ベニヤt4.0	木下地	塩ビ							
	以珍按													木下地新設			\triangle						
	 改修前	F_1	ナラフローリング合板も15	B-1 材 Cl	L	100	K-1 7	杉板目七15克貼 CL	800	W-1	ジョリパット	L-1	C-3	ピニルクロス	CL-1	塩ビ	2,600			WZ-1		ピクチャーレール(2箇所)	
廊下(1)	נים פיו אס	' 1	tg12											GWt100			3,400					トップラィト1,200×1,200<1箇所)、屋内消火栓	
)A > (1 /	 改修後			B-11 杉 Cl	L(塗替)		K-1 7	杉板目七155克貼 CL	800	W-11	ジョリパット(塗替)		C-31	ピールクロス		塩ビ				WZ-1			
	3, 19 lg							(塗替)						クロスのみ貼替						(塗替)			
	 改修前	F-1	ナラフローリング合板も15	B−1 杉 Cl	L	100	K-1 7	杉板目七15元貼 CL	800	W-1	ジョリパット	L-1	C-3	ピールクロス	CL-1	塩ビ	2,500			WZ-1			
廊下(2)	- 15 13 1	' -	tg12											GWt100									
,21 1 (_ /	 改修後			B-11 核 Cl	L(塗替)			杉板目も15st貼 CL	800	W-11	ジョリパット(塗替)	L-1	C-31	ピールクロス						WZ-1			
								(塗替) 						クロスのみ貼替						(塗替) ——————			
	 改修前	F-1	ナラフローリング・合板も15	B-1	L	100	K-1 †	杉板目七155克貼 CL	800	W-1	シ゛ョリパット	L-1	C-3	ピニルクロス	CL-1	塩ビ	2,600			WZ-1		ロールスクリーン、カーテンボックスくロールスクリーン用〉	
廊下(3)		-	tg12						I -					GWt100			3,400					ピクチャーレール(2箇所) きつね格子	
	 改修後	F-11	ナラフローリング・合板も15	B-11 杉 Cl	L	100		杉板目も15st CL		<u> </u> W−1	ジョリパット(塗替)	L-1	C-31	ピールクロス	CL-1	塩ビ	\triangle			WZ-1		ロールスクリーン、カーテンボックス(ロールスクリーン用)新設	
			tg12	D		100		下地 L-1(胴縁新設)						GW t 100 (木T		07.	0.500			(新設)		ピグチャールール(2箇所)新設 きつね格子新設	
	改修前	F-2	タイルカーへ。小貼 も 6 . 5	B−1 杉 Cl	L	100	K-1 7	杉板目七15ヶ貼 CL	800	W-1	ジョリパット	L-1	C-3	ピニルクロス	CL-1	CZ-1	2,500					上リカマチඃ松積層材	
廊下(4)			tg12	D 44 +4 OI	1	100	14 14	+/ICD 4E 8 OI	000		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		0.01	GWt100		07.4							
	改修後	21	タイルカーへ。小貼七6.5	B-11 杉 CI	L	100		杉板目も1597貼 CL		W-1	ジョリパット(塗替)		[L-31]	ピニルクロス	CL-1	CZ-1	\triangle					上リカマチඃ松積層材(新設)	
			tg12	D 1 +4 CI	ı	75		下地 L-1(胴縁新設)		\ / 1	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	1 1	C 4	GW t 100 (木T		C7 0	2 400						
	改修前	F-7	松7ロ-リング合板 t15 W115	B−1 杉 Cl	L	75				W-1	シ゛ョリパット	L-I	L-4	杉板化粧石膏ボード		LZ-2	2,400						
広縁			tg12+GW50 松フロ-リンが合板t15 W115	D 11 *4 CI	I	75				\ / 1	シ゛ョリパット	1 1	CZ-3、GW t100 C-41 杉板化粧石膏ボード゙		C7-2	-2							
	改修後	- -71	tg12+GW50	B-11 杉 Cl		/ / J				W -1	 	L-1				CZ-2	⊣ /\						
			- VYIC 1 U W J U				K-2 :	C11C8F	200	W-2	だこかりロス	-1		CZ-3、GW 1100 ロックウール吸音板 t12		塩じ							
	改修前	F-8	磁器質 94 / 100 角 m t30 金J̄					303111	000	" =	GW t100			GW t100	. CL I	<u> </u>							
流し場			11 (30 亜リ								G W C100		C_81) CL =1	<u></u> 塩じ							
	改修後	-												GW t100 (木T		У Ш С							
			>t1=1 t9	B-3 雑巾指						W-3	耐水ベニヤ t5,5			耐水ベニヤセ4.0	が可収り	雑巾摺							
	改修前	F-9	J, (- 1 V J	D 0 4E-1311							GW t100		0 /	GW t100		4π.1-1H							
押入										W-31	耐水ベニヤ t5.5		C-71	耐水ベニヤセ4.0		唯 中摺							
(和室15畳)	改修後						 				GW t100 胴縁下均	 b 新設	, , ,	GW t 100 (木T	 「地新設)								
			松7ロ-リング合板 t15 W115	B-1 杉 CI	L	75				W-1	シ *** ********************************		C-7	耐水ベニヤt4.0	5 32 /	雑巾摺							
ar 2 . 2 .	改修前	F-7	tg12+GW50											GW t100									
物入(2)	35.16.11												C-71	耐水ベニヤセ4.0		雑巾摺							
	改修後													GWt100 (木T	- <u>'</u> '地新設)								
		-																					

木下地は特記なき限り既設利用とする。 構造材については、構造図を参照とする。 亀山市林業総合センター復旧

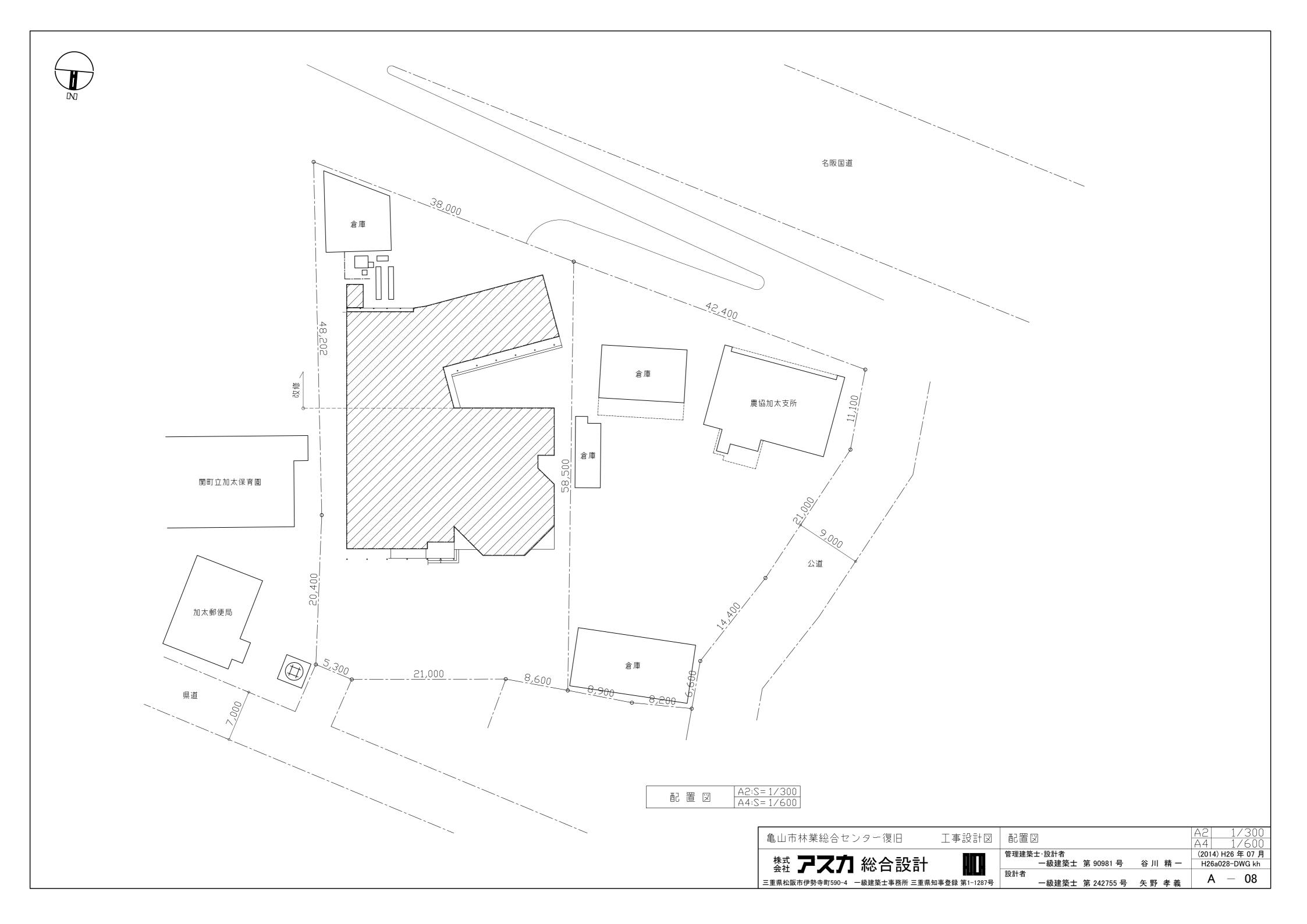
株式 アスカ 総合設計

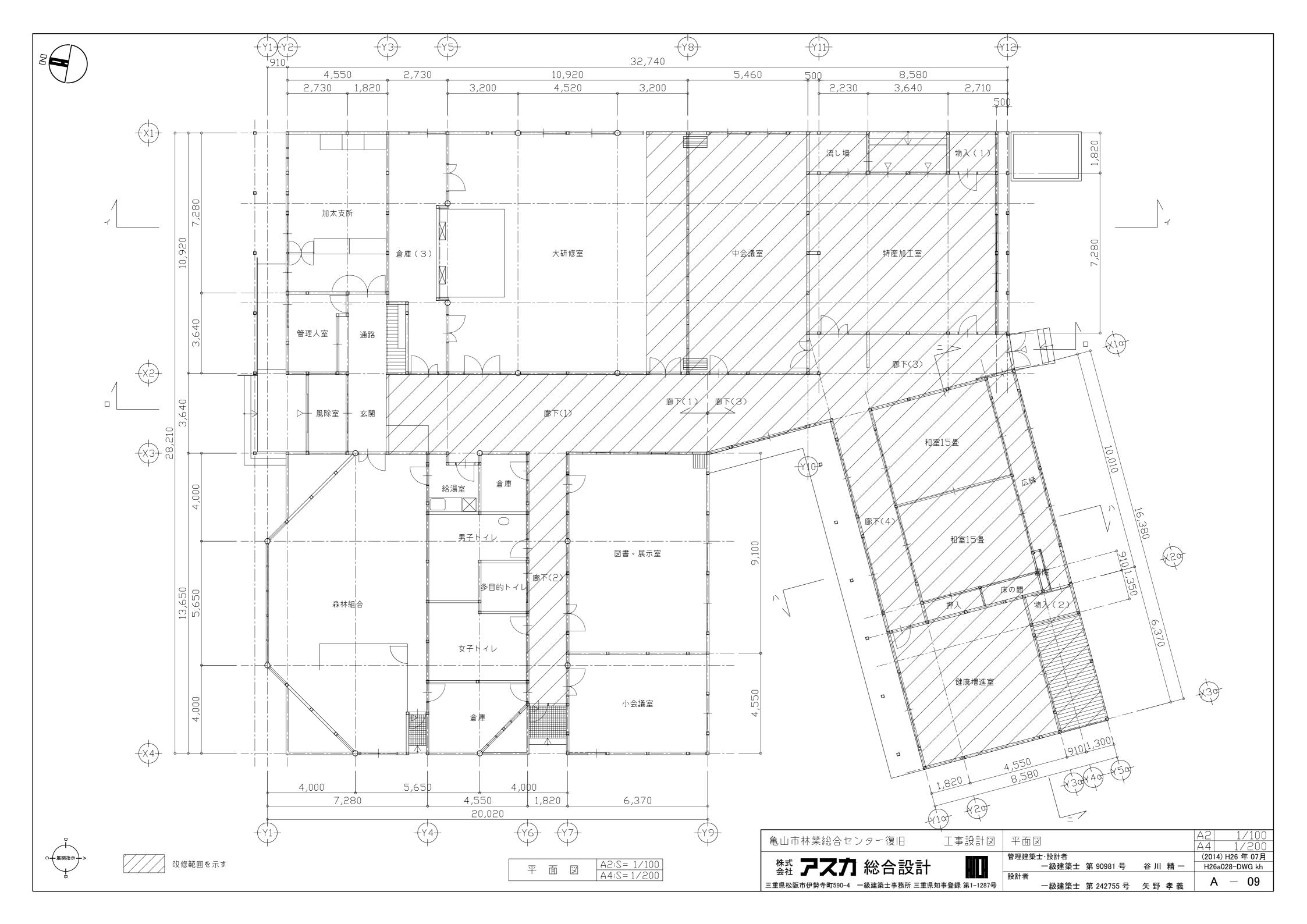
工事設計図 仕上表2 管理建築士·設計者 一級建築士 第 90981 号 谷川 精一 H26a028-DWG st

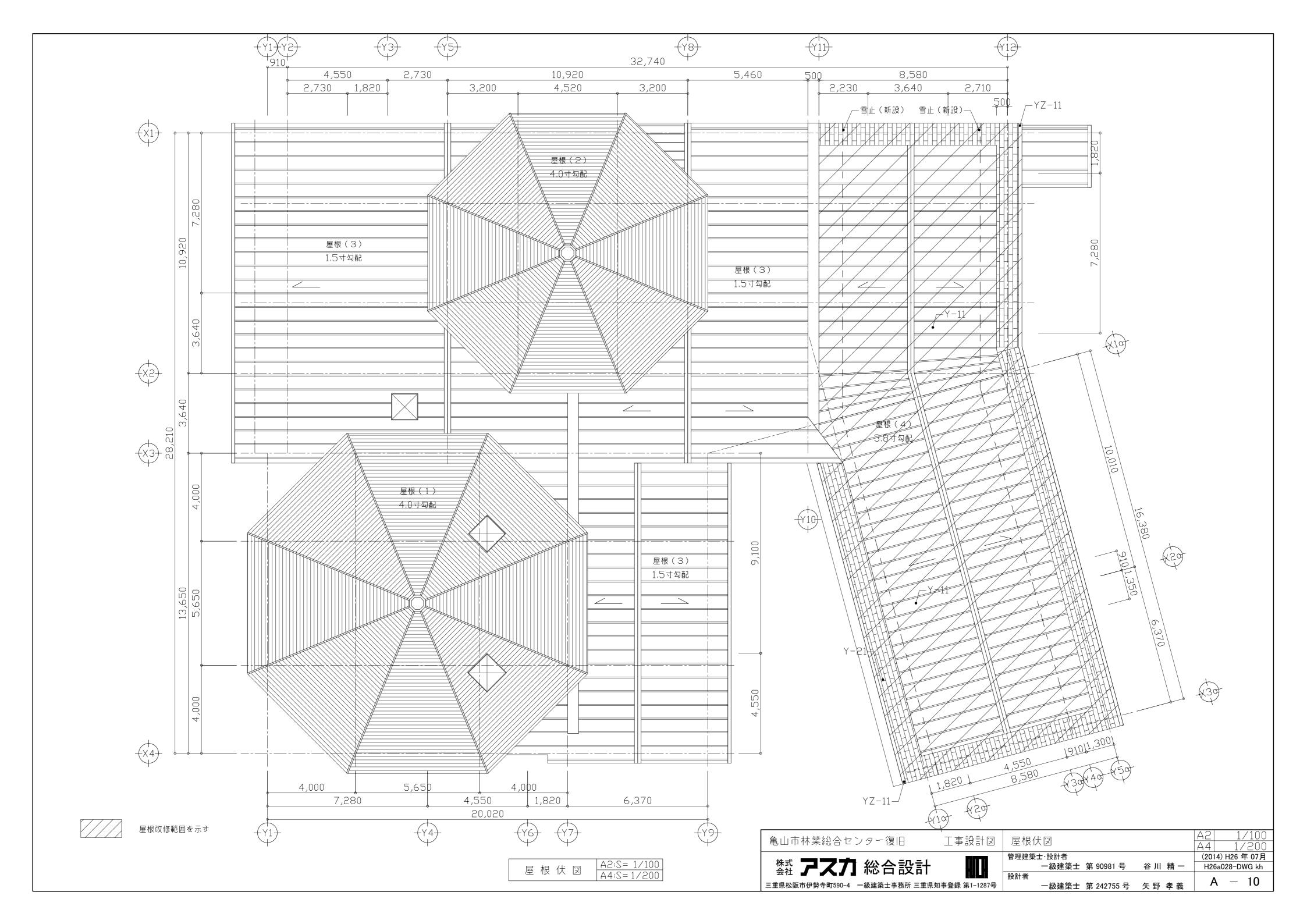
non (2014) H26 年 07 月

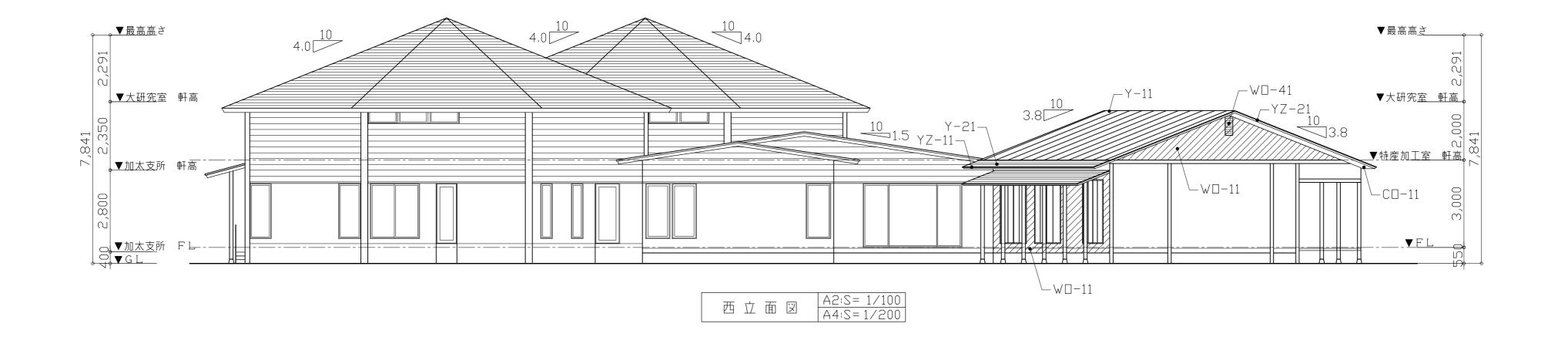
三重県松阪市伊勢寺町590-4 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-1287号

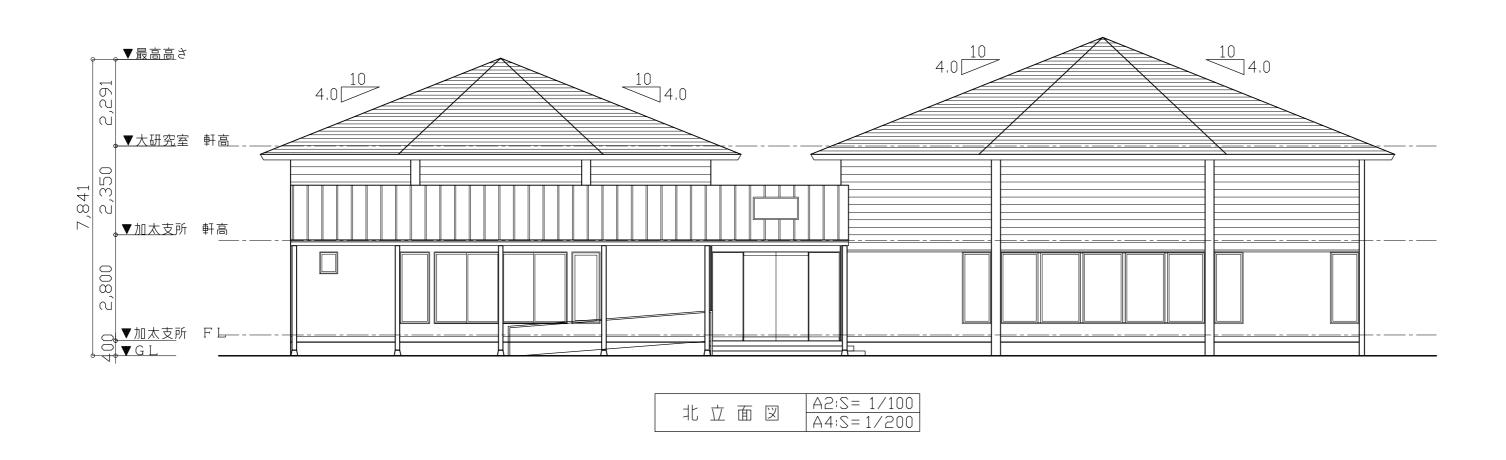
A - 07一級建築士 第 242755 号 矢野 孝義





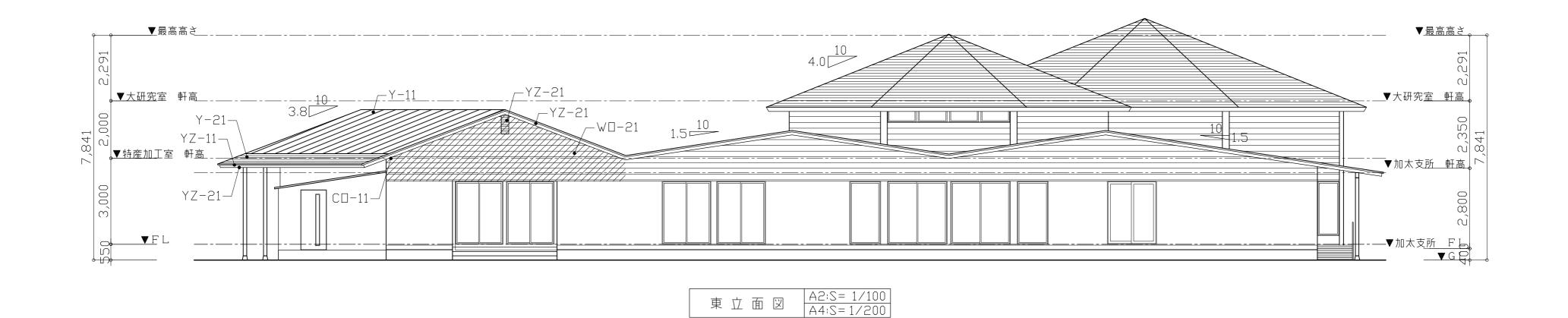






外壁改修範囲を示す

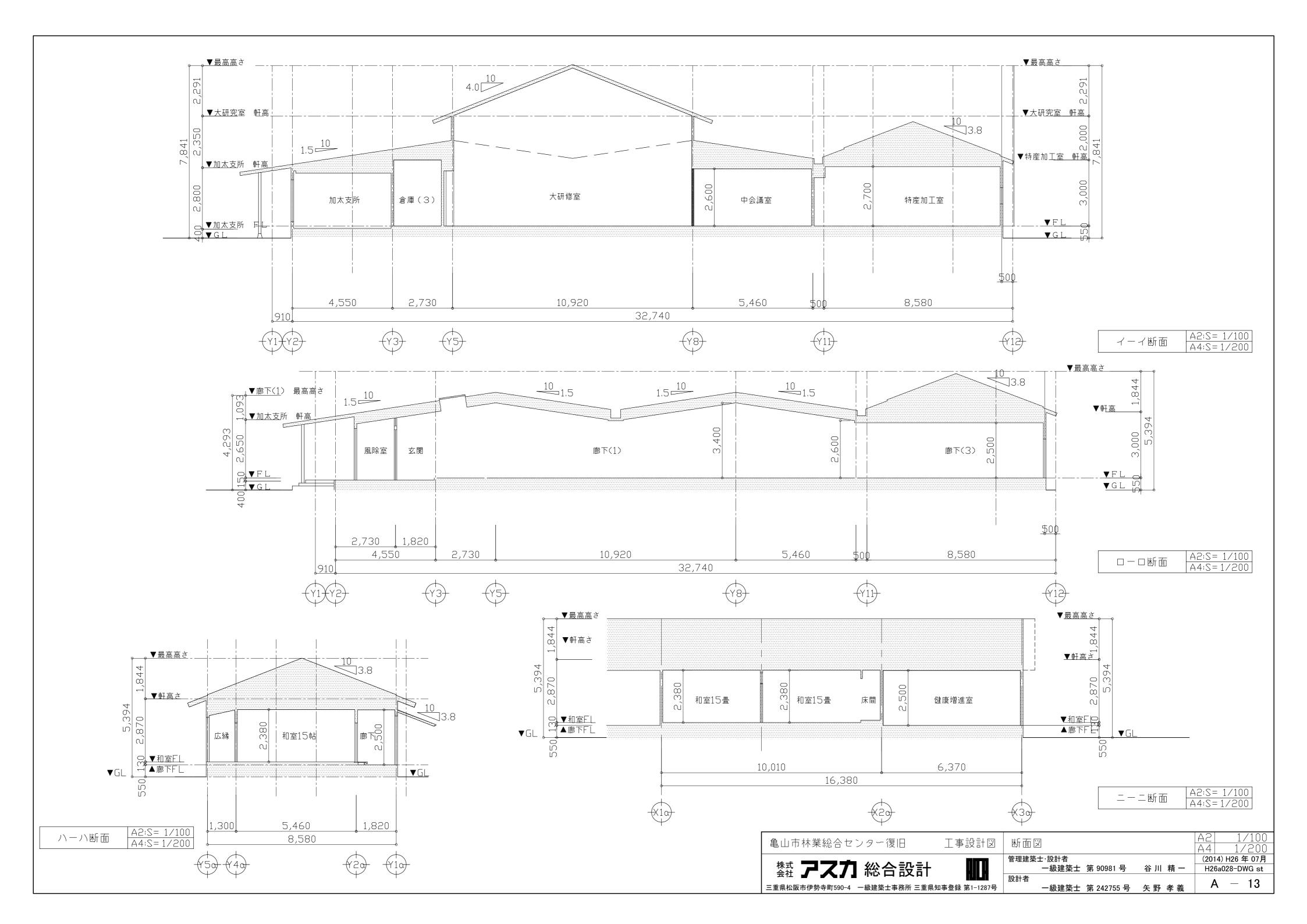
亀山市林業総合センター復旧	工事設計図		A2 1/100
			H 4 1 / C U U
株式		管理建築士·設計者	(2014) H26 年 07月
		一級建築士 第 90981 号 谷川 精一	H26a028-DWG kh
AL W WIND THE		設計者	^ 11
三重県松阪市伊勢寺町590-4 一級建築士事務所 三重県第	日事登録 第1-1287号	一級建築士 第 242755 号 矢野 孝 義	\mid A $-$ II \mid

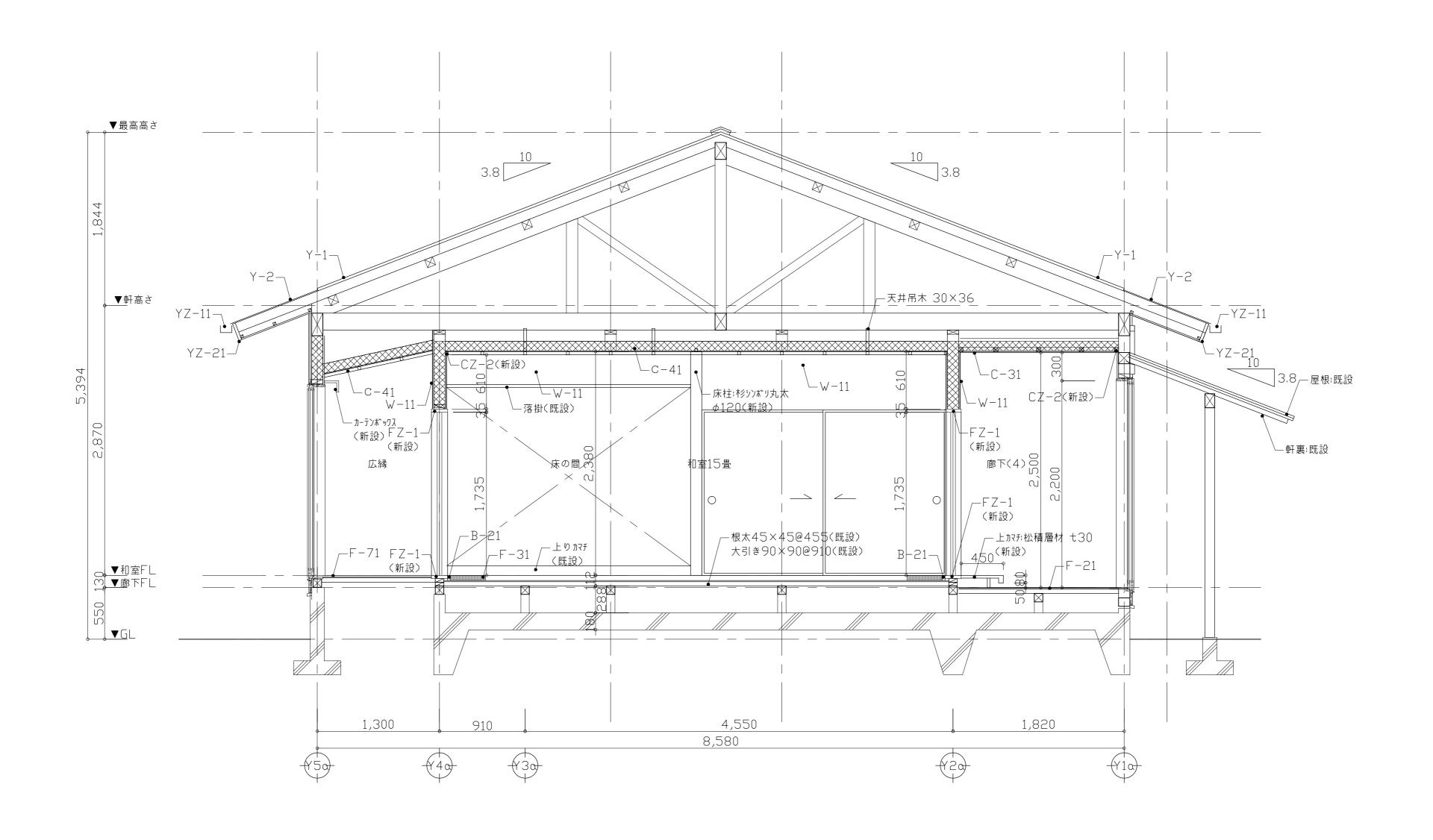




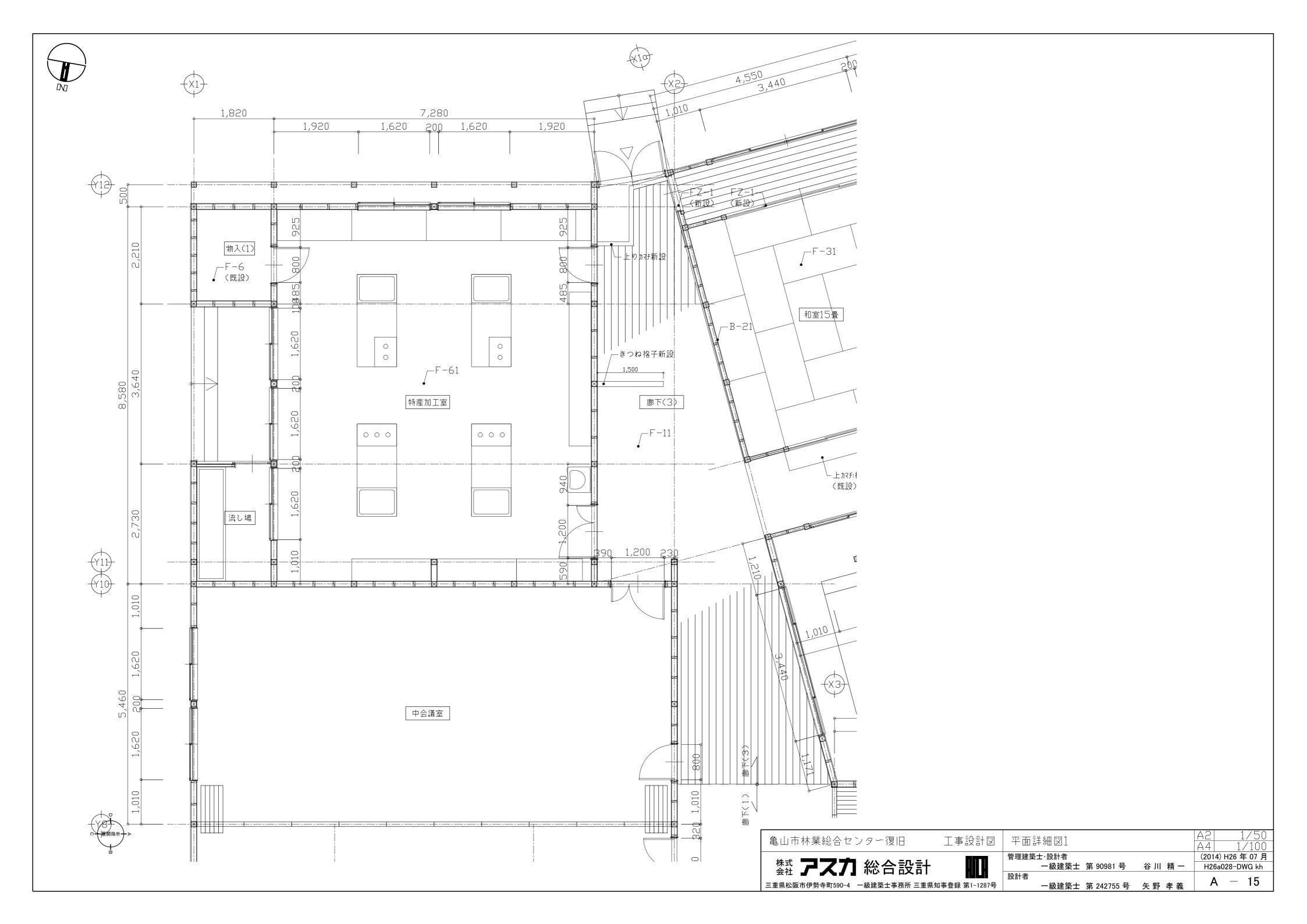
外壁改修範囲を示す

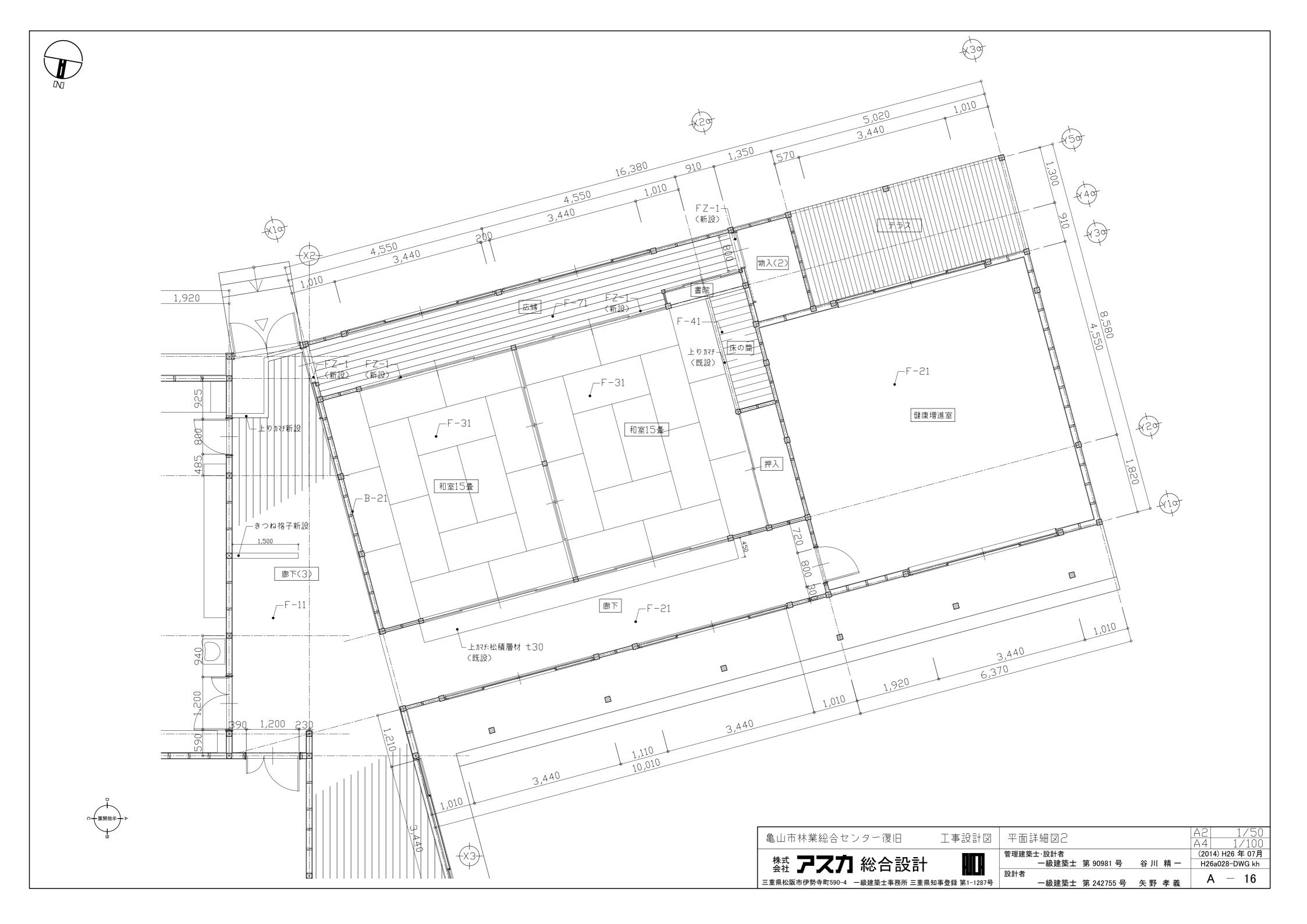
- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	工事設計図	立面図2	A2 1/100
		管理建築士·設計者	(2014) H26 年 07月
株式 アスカ 総合設計		一級建築士 第 90981 号 谷川 精一	H26a028-DWG kh
		設計者	Δ — 12
│ 三重県松阪市伊勢寺町590-4 一級建築士事務所 三重県気	□事登録 第1-1287号	一級建築士 第 242755 号 矢野 孝 義	

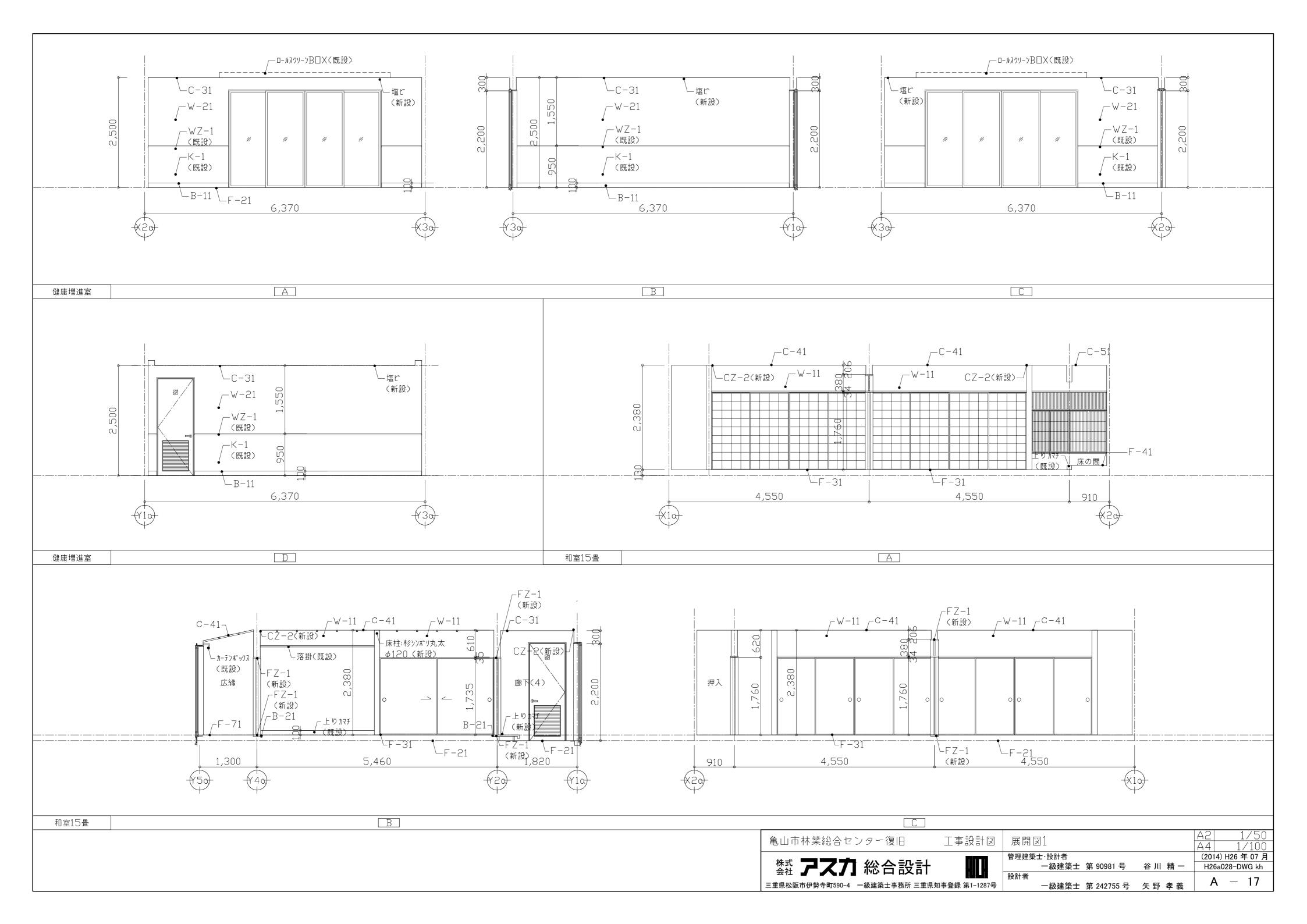


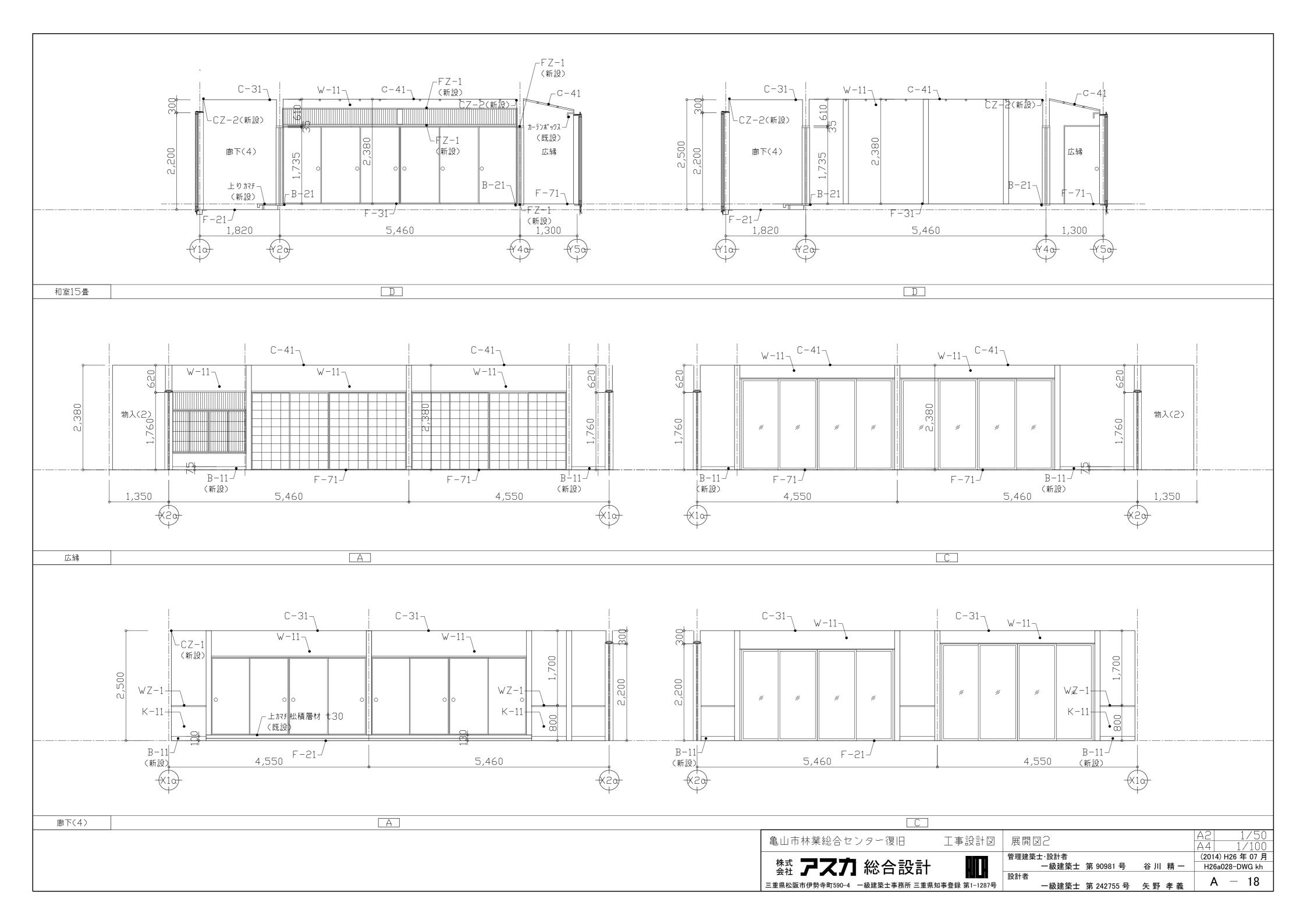


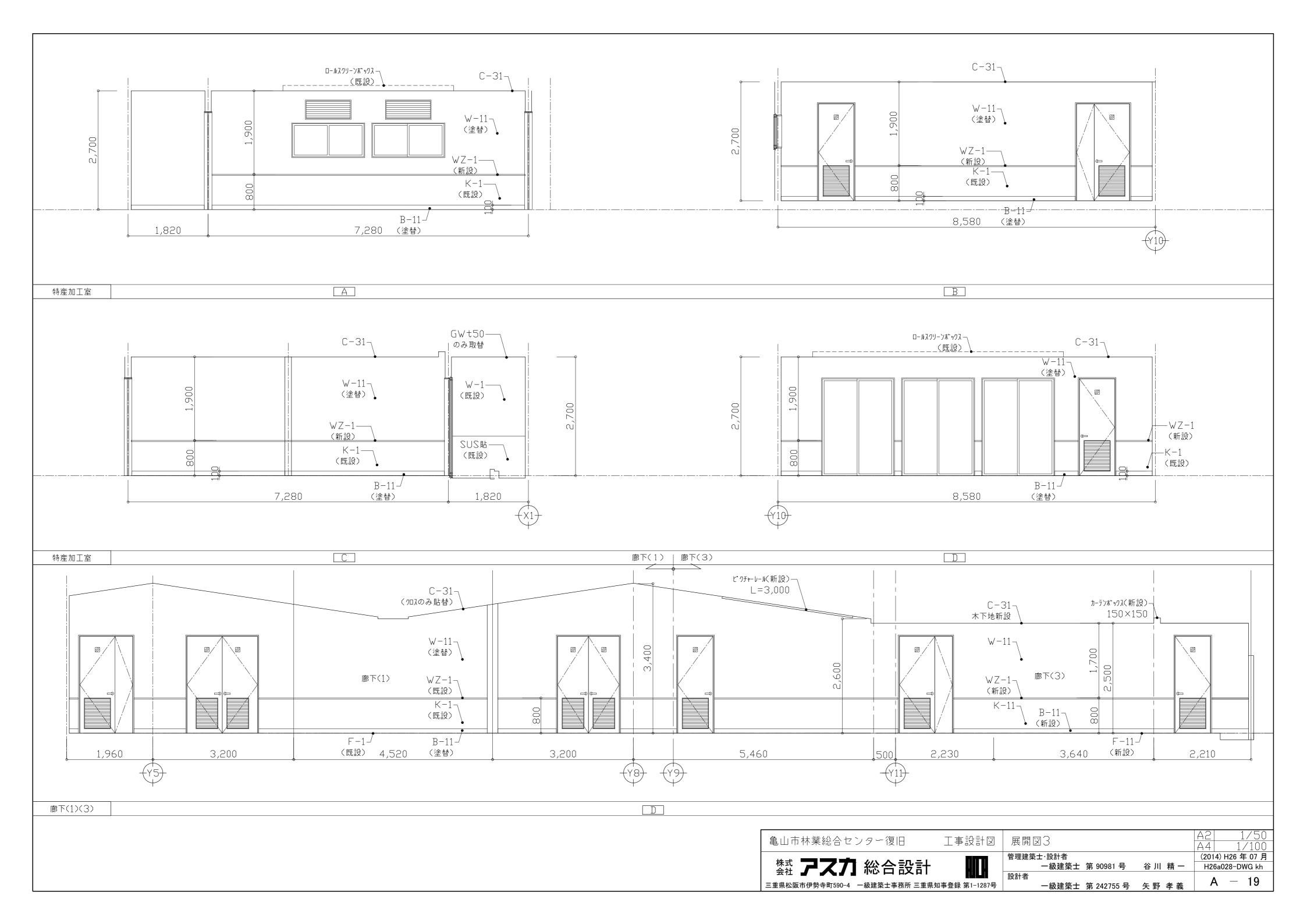
亀山林業総合センター復旧	工事設計図	矩計図			A2 A4	1/30 1/60
株式 アスカ 総合設計	Ш	管理建築士·設計者 一級建築士	第 90981 号	谷川精一		126 年 07 月 28-DWG st
三重県松阪市伊勢寺町590-4 一級建築士事務所 三重県祭	田事登録 第1-1287号	設計者 一級建築士	第 242755 号	矢野 孝義	Α	- 14

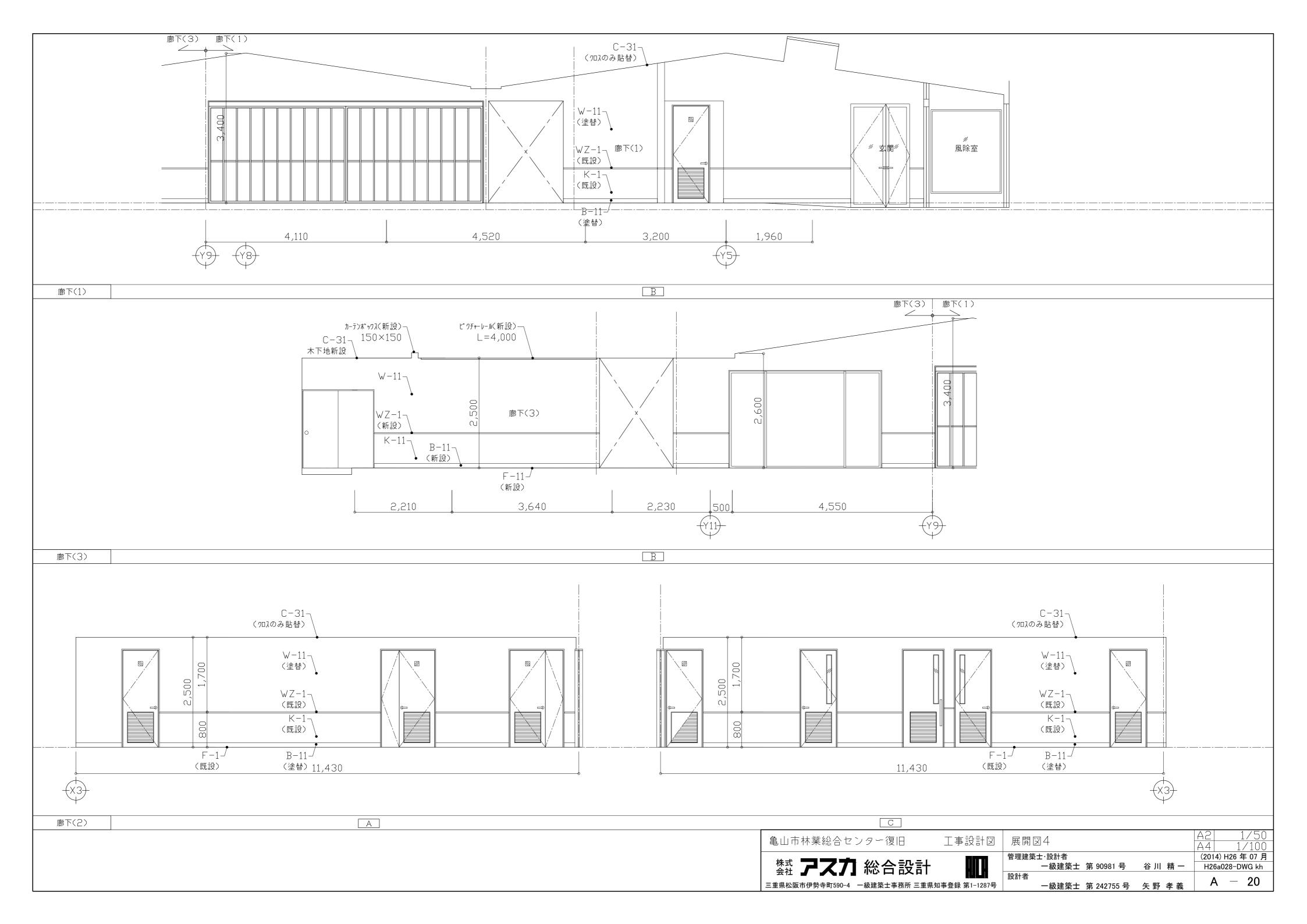


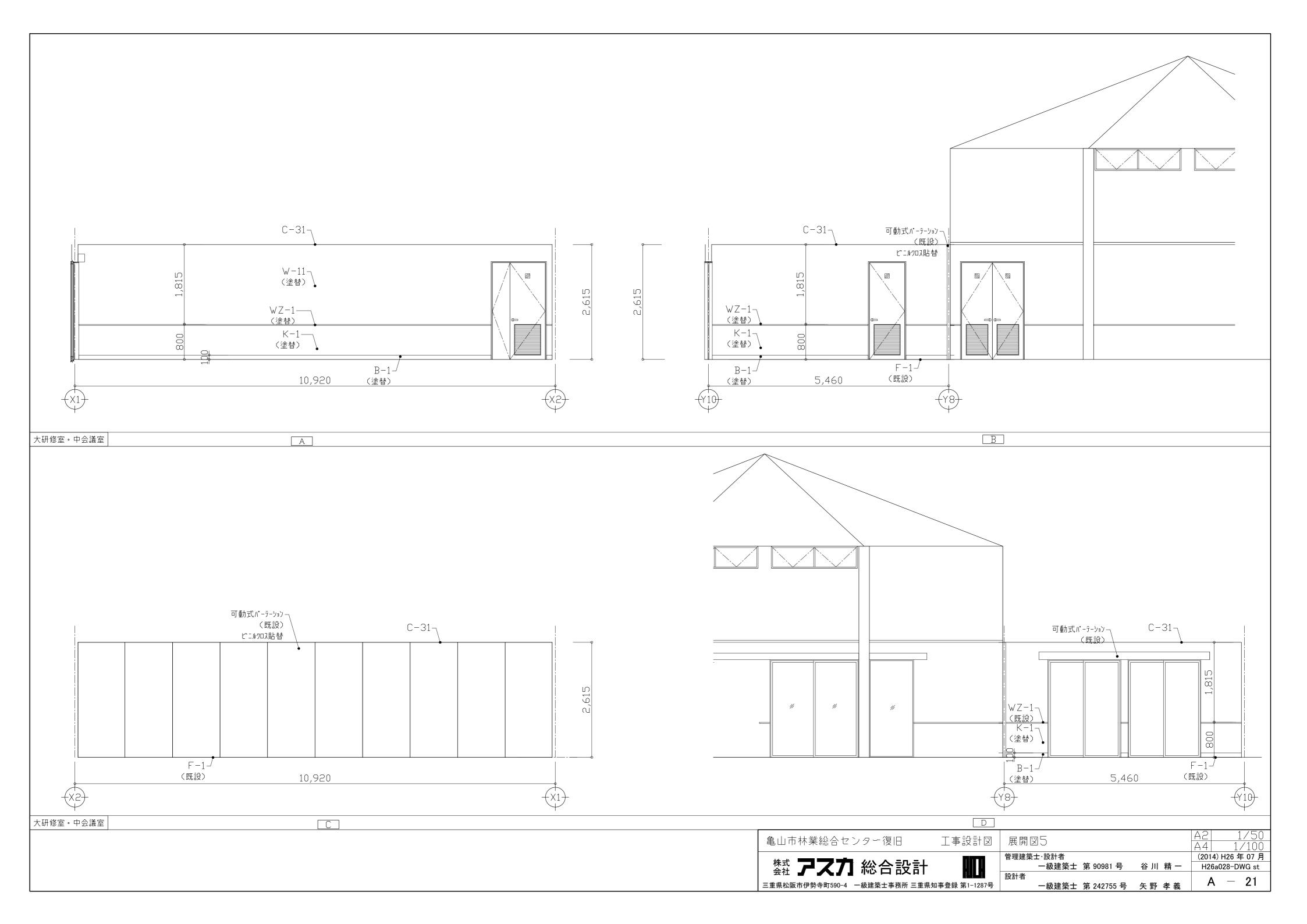


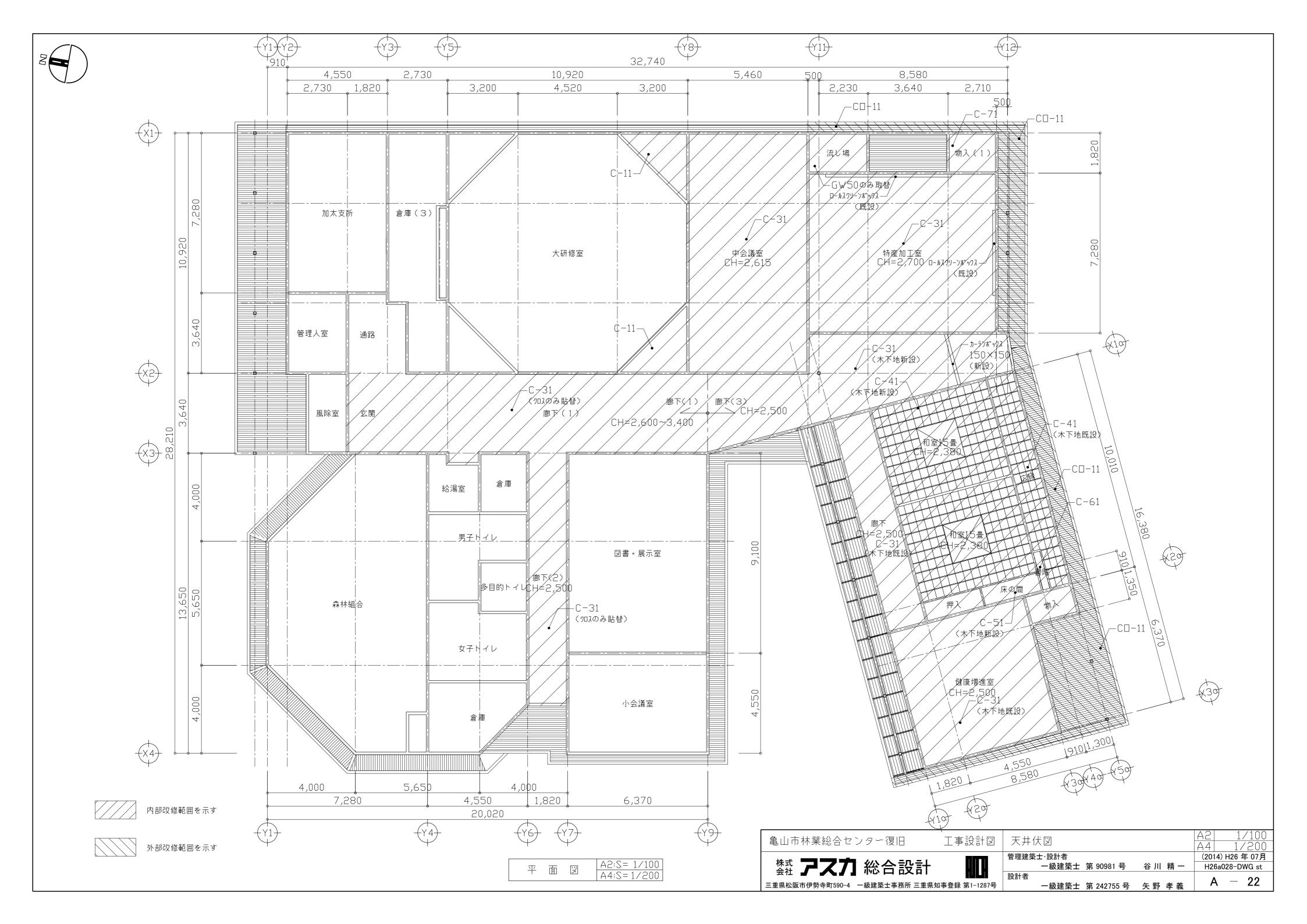


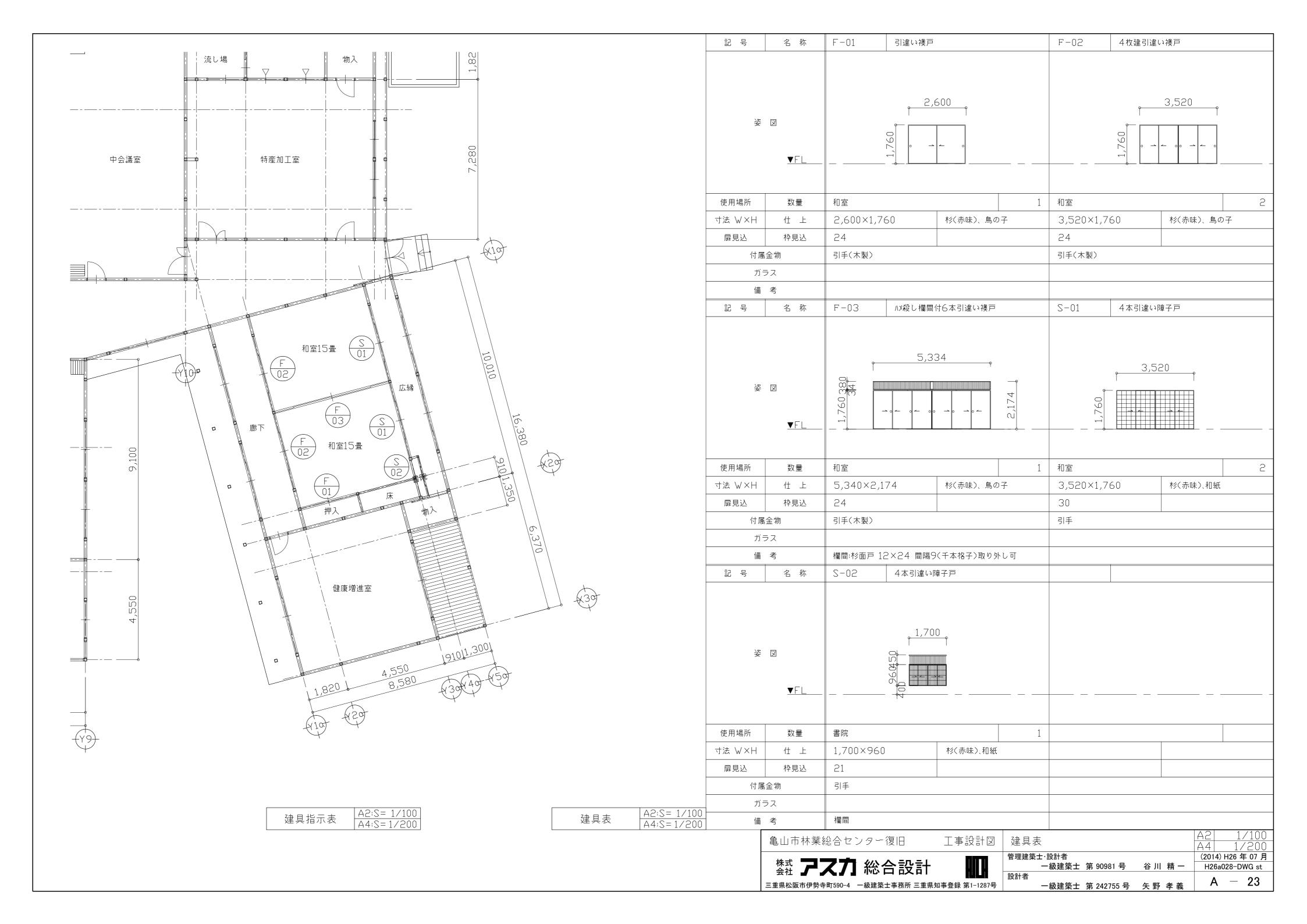












木質構造特記仕様書

1 共通事項

1.1 適用範囲

本仕様書は、木材を構造上主要な部分に用いた木工事に適用する。

1.2 一般事項

- a.製材や集成材・接合金物などの製作にあたっては製作要領書を作成し監理者の承諾を受ける。
- b。工事に先立ち、必要な製作図とともに施工要領書を作成し、監理者の承諾を受ける。 c。各工程の施工終了後すみやかに施工記録を作成し、監理者に提出する。

1.3 準拠基準

- a.大断面木造建築物設計施工マニュアル(最新版)日本建築センター
- b。木質構造設計規準・同解説 (最新版) 日本建築学会
- c。農林水産省告示 第111号「構造用集成材の日本農林規格」(最新版)
- d。 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 木造建築工事共通仕様書 (最新版)

2 材料及び接合金物等の部材の品質

2.1 構造用集成材

a.集成材の品質は、農林水産省告示第111号「構造用集成材の日本農林規格」による。

b。樹種 ロベイマツ ロカラマツ

> ロスギ ■ヒノキ

口他(欧州アカマツ)

c。等級	■対称異等級構成集成材	□非対称異等級構成集成材	□同一等級構成集成材
	□E135-F375	□E125-F360	
	□E120-F330	□E110-F315	
	□E105-F300	□E100-F285	
	■ E 95-F270	□E 90-F255	
	□E 85-F255	□E 80-F240	
	□E 75-F240	□E 70-F225	□E 75-F270
	□E 65-F225	□E 60-F210	
	□他(E -F)	□他(E -F)	

d。材面の品質 ■2種 □3種

e。ラミナの縦継ぎは、フィンガージョイント(フィンガー長さは、最外・外・中間層用 にあっては12mm以上、内層用にあっては10.5mm以上)とする。

f。ラミナ厚は15および35mmを標準とする。

g。JAS品質検査記録証明書を提出する。

h。使用環境 ■1 □2

↑。ホルムアルデヒド放散量は「F☆☆☆☆」とする。

a.本項の内容は、針葉樹の構造用製材の日本農林規格による。

部位	品名	樹種	区分等級	含水率	その他
柱・梁	構造用製材	ヒノキ	無等級	D20	天然乾燥材
 土台	構造用製材	ヒノキ	無等級	D20	 天然乾燥材

2.3 構造用合板、構造用パネル

a.本項の内容は、構造用合板および構造用パネル製材の日本農林規格に準じる。

部位	品名	強度等級	板面品質	接着耐久性	その他
屋根	構造用合板	2級以上	C-D	特類	12mm

- a。接合金物の品質は、JIS G3101(一般構造用圧延鋼材)を準用し、
- SS400以上のものを使用する。
- b。使用する鋼材の品質については、規格証明書を提出する。
- c。枠組壁工法用接合金物

接合及び補強金物は、(財)日本・住宅木材技術センターの定める規格により、 金物にCマ−ク表示のあるもの、又はこれと同等以上のものとする。

尚、金物を接合する釘は、専用の太め釘(ZN釘)を使用する。

2.5 高力ボルト・六角ボルト・ナット・アンカーボルト・ターンバックル接合材は特記ない限り、 下表に示す規格品とする。

接合材	規格	種類
高力ボルト・ナット	JIS形高力ボルト	セット2種 A,B:
・座金のセット	JIS B1186	ボルトF10T,ナットF10
	(摩擦接合用高力六角ボルト	,座金F35
	・六角ナット・平座金のセット)	
	溶融亜鉛めっき高力ボルト	セット1種 A:ボルトF8T
	国土交通省認定品	,ナットF10,座金F35
	(摩擦接合用高力六角ボルト	
	・六角ナット・平座金のセット)	
	トルシア形高力ボルト	セット2種:ボルトS10T
	JSS?9	,ナットF10,座金F35
	(構造用トルシア形六角ボルト	
	・六角ナット・平座金のセット)	

接合材	規 格	種類
中ボルト・ナット	JIS B1180 (六角ボルト)	強度区分4T,仕上げ程度中
	並形六角ボルト	,メートル並目ねじ
		,ねじの等級6g
	JISB1181 (六角ナット)	強度区分4T,仕上げ程度中
	並形六角ナット	,メートル並目ねじ、
		ねじの等級6H
アンカーボルト	JIS G3101	SS400のL型、又はJ型
	(一般構造用圧延鋼材)	メートル並目ねじ
ターンバックル	JIS A5540	
	(建築用ターンバックル)	
	JIS A5541	割わく式(ST),パイプ式(PT)
	(建築用ターンバックル胴)	
	JIS A5542	羽子板ボルト(S),両ねじボルト(D)
	(建築用ターンバックルボルト)	

2.6 ドリフトピン

品質は、JIS G3101によるSS400の規格品、又は同等品以上とする。

品質は、JIS G3507によるSWRCH10Rの規格品、又は同等品以上とする。

2.8 丸座金(曲げボルト用)

ボルトに使用する座金の寸法。	ボルトに使用する座金の寸法・厚さは下記による。 (単位:mm)											
ボルト径	12	16	20	2 4								
座金の厚さ	4.5	6.0	6.0									
丸座金の直径	40	60	70	8.0								
引っ張りボルトに使用される座金の寸法および厚さは、別途計算とする。												

計算によって安全を確認できた場合は、この限りでない。

品質は、JIS A5508による鉄丸釘(N釘)、太め鉄丸釘(CN釘)とする。

3 要領書

3.1 製作要領書(案)

a. 総則 :適用範囲,適用図書ならび準拠図書,変更・疑義・協議,作業者への徹底

b. 一般事項: 工事概要,製作工程表,製作工場,作業組織および分担表,作業系統図

c. 材料 :原材料の規格材料試験および検査方法,材料の保管および整理

: 製作図,原寸図および加工,接合金物の溶接,その他必要事項

e。検査: 社内検査,製品検査,製品寸法許容差,修正事項,その他必要事項

f。輸送 : 製品符号,輸送計画,その他必要事項

g。その他

3.2 施工要領書(案)

a. 総則 :適用範囲,適用図書ならび準拠図書,変更。疑義。協議,作業者への徹底 b。一般事項:工事概要,施工管理体制,作業系統,作業工程

c.輸送計画:概要,制作工場,輸送会社,輸送経路,発送・搬入,荷卸し,部材置場,保管 ,製品受入確認

d. 建方計画:建方機械の種類および能力,建方方法および順序,地組,建方,養生 建入直し,部材数量,その他必要事項

e。検査 : 建入検査、接合部の検査、その他必要事項

f。安全管理:安全衛生管理体制、作業責任者

g . その他 :

4 製作

施工図は、設計図書をもとに全体の納まりや詳細などについて十分検討した上で作成し、 監理者の承諾を受ける。

a. 鋼製巻尺はJIS B7512 (鋼製巻尺) による1級品を用いる。同一工事に 用いる巻尺は、それら相互の誤差の少ないものを使用する。

b。工場製作用巻尺と現場作業用巻尺とを照合して、その誤差を確認する。 照合に際して、巻尺に対する張力は規格により、照合時の室温も記録する。

a。施工図だけで部材製作が困難な場合は、工作図を作成する。

b。必要に応じ原寸図を作成し、型板・定規を作成する。もしくは、CADによる 原寸シートを型板・定規とする。

4.4 墨付け

墨付けは工作図にしたがって、型板・定規および鋼製巻尺を用いて行う。

4.5 集成材部材の寸法精度

製品の寸法精度は下記による。

			製作図寸法と測定寸法の差
短辺	大断面		±1.5 mm内
	中断面及び小断面		+1.5mm以内 -0.5mm以内
r			±1.5%以内(ただし、5 mmを越えないこと。)
	中断面 及び	300mm下のもの	+1.5 mm以内 -0.5 mm以内
	小断面	300mm越えるもの	±0.5%以内(ただし、+5mm、-3.0mmを越えないこと。)
材長:			±5 mm以内
断面直角度 :			±1/100以内

4.6 構造部材のボルト穴

a。穴径 ボルトの公称軸径 d にに対する木材の穴径は下記による。

d + 1 .0 m m (M 1 6 未満)

d+2.0mm(M16以上)

・ドリフトピン d±0mm

・ラグスクリュー 胴部先穴 d±0mm ねじ部先穴 ねじ径50%~70%

b。精度 穴あけの許容差は下記による。

・穴の芯ずれ ±2.0 m m 以内 ・穴間隔ずれ ±2.0 m m 以内 ・穴のくい違い 2.0 m m 以内

4.7 集成材部材の表面仕上げ等

a。面取り形状 ■ 角面取り 6 m m □ R面取り □ 糸面取り b。表面仕上げ ■ 自動機械プレーナー仕上げ

ロ サンダー#80掛け仕上げ □ 他(

4.8 集成材部材の工場塗装(本項で示す塗装とは、建方時の汚れ止め程度とする。)

a。素地調整 塗装前に塗装面の汚れ、付着物等を除去する。

b。塗装の種類により定められた量を下塗りし、塗布後に十分乾燥するまで養生する。

c。工場塗装 □ 無塗装

■ 木材保護塗料(自然塗料) 1 回塗り

4.9 接合金物の寸法精度 製品の寸法精度は下記による。 工作図寸法の土2.0mm以内

幅 長さ

4.10接合金物のボルト等穴

a。穴径 ボルトの公称軸径 d にに対する接合金物の穴径は下記による。

・穴間隔ずれ 土1.5mm以内

d + 1 .0 m m (M 1 6 未満) ドリフトピン d+1.5mm(M16以上) ラグスクリュー ・アンカーボルト d+5.0mm b。精度 穴あけの許容差は下記による。

・穴の芯ずれ ±1.5 m m 以内

4.11接合金物の溶接

a.溶接工は、下記による技量を有する有資格者とする。 手溶接 JIS Z3801 (手溶接技術検定における試験方法および判定基準)

半自動溶接 JIS Z3841 (半自動溶接技術検定における試験方法および判定基準) b。溶接工の技量に疑いを生じた場合は、工事に相応した試験を行い、その適否を決める。

4.12接合金物等の防錆処理(塗装については、工場塗装範囲を記す。)

a.接合金物(屋外・屋内共)

□ JIS K5625 (シアナミド鉛錆止めペイント) 2種 1回塗り

■ JIS H8641 (溶融亜鉛めっき) 2種 HDZ55 □ 他(

b.中ボルト・ナット・座金・ドリフトピン・ラグスクリュー

□ JIS H8610 (電気亜鉛めっき) 1種B ■ JIS H8641 (溶融亜鉛めっき) 2種 HDZ35 □ 他(

5 製品検査

a。製品は、工場製作完了後、部材の検査を行い、検査記録を提出して監理者の検査を受ける。 b。製品検査の検査項目及び検査要領は、あらかじめ定められた方法により行う。

5.2 検査の項目

a.形状・寸法

部材長さ、断面寸法、曲り、ねじれ、わん曲の角度、断面直角度等の基本寸法を計測する。

現場建方に支障がないよう、接合部の角度、ボルト穴径、ボルト穴相互位置 接合金物の取り付け具合などを計測または、確認する。

c 。外観

部材表面のキズ、接合金物の外観などを計測または、確認する。

調整し、長尺物、異形物などは適切な養生方法を講ずる。

6 搬出および運搬時養生

6.1 輸送計画

製品の輸送にあたっては、輸送計画書をあらかじめ作成し、建方計画に支障が生じな いように道路状況、現場の作業の手順などを考慮し、十分な検討を行う。

6.2 組立て符号 部材はすべて、組立て符号図(部材番号、取合い符号などを記入)により符号をつける。

6.3 輸送 積込み、積降ろしまたは輸送中に、製品がひずみ・変形などを生じないように荷台を

三重県松阪市伊勢寺町590-4

7 建方

7.1 一般事項

- a.建方計画にあたっては、建方精度に規定する諸寸法を保持するよう部材の組立て 順序を立案し、あわせて作業期間中の安全を考慮する。
- b. 建方に用いる機械は、最大吊荷重、作業半径および建物の規模・形状により最適 機種を選定し、その機械の特性に適した使用法を計画するとともに、不慮の衝撃 等に対しても安全であるようにする。
- c. 建方中における仮設用の機械、資材の仮置きおよび強風時に、各部材・接合部に 生ずる応力に対しては、短期許容応力度を超えないようにし、倒壊防止に有効な

7.2 搬入及び仕分け

- a.製品受け入れにあたっては、工場からの送り状と照合し、数量を確認する。
- b。製品は、建方順序に従い、仕分けして集積する。
- c。集積の際、部材は適当な受台の上に置き、材に曲り・ねじれなどの損傷を与えな いよう注意する。
- d。部材の曲り・ねじれなどを発見した場合は、建方に先立ちこれを修正する。

7.3 地組

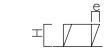
建方に先立って地組を行う場合は、寸法精度を保持するために有効な架台・治具など

7.4 建方

- a.建方計画に基づき、順次建方を行う。この際原則として、筋かい、方づえ等の 斜材を同時に取り付けながら進める。
- b。必要に応じて仮設支柱を立てて架構を保持する。この仮設支柱は本接合が完了
- c。建方完了後または定められた工程の建方が完了した場合は、建方の検査記録を 提出し、監理者の検査を受ける。 d。本接合は、建入れひずみを修正した後、あらかじめ定められた順序・工法に基づ
- いて行う。 e。建方の精度基準は特記による。特記がない場合は下記による。

(1)建物の倒れ

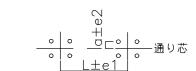
 $e \le H/2,500+10 \,\text{mm}$ $h > e \le 50 \,\text{mm}$



(2)建物のわん曲 $e \le L/2,500 \text{ } \text{m}$

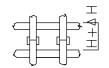
(3) 柱据付け面の高さおよびアンカーボルトの位置 ・柱据付け面の基準高さからの誤差は土3mm以下 ・柱隣接間中心距離の誤差 e 1 は ± 1 m m 以下

・通り芯からの誤差e2は土3mm以下



(4) 階高

 $-5 \, \text{m} \, \text{m} \le \Delta H \le +5 \, \text{m} \, \text{m}$



(5)はりの水平度

 $e \le L/1,000+3 \,\mathrm{mm} \, m \ge 10 \,\mathrm{mm}$



(6) 柱の倒れ

 $e \le H/1,000 \text{ boe} \le 10 \text{ mm}$



7.5 建方養生

- a.建方の作業中、風圧力その他の荷重に対しては、必要に応じ臨時の筋かいそ の他の支持材で補強する。
- b.トラス、その他の吊上げまたは建方にあたっては、適切な補強を行う。
- c。建方作業中、横架材上に諸材料または機械等の重量物を積載し、あるいは柱 に大きな引張力を与える場合は、監理者の承諾を受けかつ必要な補強を行う。

亀山市林業総合センター復旧

工事設計図

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-1287号

設計者

木質構造特記仕様書 管理建築士·設計者

(2014) H26 年 07 月 一級建築士 第 90981 号 谷川 精一 H26a028-DWG kh S - 01一級建築士 第 242755 号 矢野 孝義

株式 アスカ 総合設計

